

Rotary International District2780

# GOVERNOR'S

## Monthly Letter

奉仕しよう  
みんなの人生を  
豊かにするために



SERVE TO CHANGE LIVES

2022

最終号

Vol.13

2021-2022

ガバナー月信



### Best Rotary Days of Service



国際ロータリー 第2780地区 2021-2022年度ガバナー 田島 透  
Rotary International District2780 2021-2022 Governor Toru Tajima

# 一年間を振り返って

国際ロータリー第2780地区  
2021～22年度ガバナー

**田島 透**



会員の皆様に支えられ、そして励まされて、ガバナーとしての2021-22年度が終了することができました。

新年度は蔓延防止期間で始まりその後も蔓延防止と緊急事態の繰り返しで、1年間を走りとおせたのは、皆様のご協力のお陰様でございます。前年までは新型コロナウイルスによる行動制約の下で地区活動は停滞し、各クラブでは休会も多く、奉仕活動も消極的にならざるを得ない状態でした。このコロナ禍にガバナーとしてどのように地区運営を行うか考えていた時、小沢パストガバナーから「ガバナーとしてコロナ禍を理由に何もしなくても1年、一生懸命やればやっただけの経験ができる」とアドバイスをいただきました。地区活性化のためにできる限りの活動を計画し、戸惑う余裕もないまま“あつ”という間の1年でした。ガバナー補佐の皆さんとは地区の問題を共有するために5月から12月まで毎週ZOOM懇談会を開催し、時には深夜に至るときもありました。その結果、ガバナー補佐と地区チームの皆さんとで「世界ポリオデー」、「地区大会」「新クラブ」「ロータリー奉仕デー」「クラブフューチャービジョンセミナー」など新しい多くの企画を実現することが出来ました。

これもひとえにガバナー補佐、地区チームをはじめとする地区ロータリアンの皆さまの深いご理解と

ご協力のお蔭だと、重ねて感謝申し上げます。そして、皆様と一緒に過ごしたこの1年間は、私の人生の中において貴重な宝物となりました。

## 「クラブ公式訪問」

クラブ公式訪問は、12月までの4か月間に対面（一部ハイブリッド）ですべてのクラブの訪問を終えることが出来ました。

RI会長のテーマ、強調事項、地区方針、それぞれのクラブが抱えている問題点などをクラブフォーラムで実施しました。大きく変わりつつあるRIのビジョン・戦略計画・未来形成、会員増強、クラブビジョンの推奨、ポリオ根絶など突っ込んだ議論を通して充実した公式訪問が出来たと思っています。すべてのクラブで暖かく歓迎していただき、事前訪問されたガバナー補佐の皆様の献身的なご努力なくしては語れません。改めて御礼申し上げます。

## 「地区大会」

新型コロナウイルス感染防止期間中の3月20日から21日に鎌倉パークホテルおよび藤沢市民会館で開催することができました。地区大会実行委員会は会員の皆様が安心してご来場くださるよう可能な限りの感染対策を講じ、その結果2年ぶりのフルスペックでの開催に至りました。

## CONTENTS

ガバナーメッセージ .....	2	かながわDEI RC発足 .....	22
一年を振り返って (AG、地区幹事、委員長) .....	4	GROW MORE MEMBERSHIP アーカイブ .....	24
ウクライナ支援 .....	15	世界大会報告 .....	26
第1G奉仕デー .....	16	Best Rotary Day of Service 受賞 .....	27
第2G奉仕デー .....	17	小田原RCより .....	28
第3G奉仕デー .....	18	ロータリーの創生 .....	29
第4G奉仕デー .....	19	米山功労者 .....	30
第5G奉仕デー .....	20	R財団寄付者 .....	31
第7G奉仕デー .....	21	かながわDEI RC会員紹介 .....	32

## ガバナーメッセージ

RI会長代理には小沢パストガバナーのご尽力で三木明様を招聘できたことは私にとってこの上ない幸せです。1日目のクラブリーダーシップセミナーそして2日目の本大会で格調高いご指導をいただいたことが記憶に強く残っています。

### 地区目標「地区ビジョンの実現を目指して」

昨年度RIテーマ「serve to change lives(奉仕しようみんなの人生を豊かにするために)」に基づき地区目標「地区ビジョンの実現を目指して」そして「DO MORE END POLIO GROW MORE MEMBERSHIP」を掲げて行動した1年間でした。

### 「世界ポリオデー IN 2780」

「END POLIOキャンペーンと公共イメージと認知度の向上」については、2013-14年度相澤光春ガバナーが種をまかれました。そして「END POLIOキャンペーン」は地区に定着した事業となりました。そこで、世界ポリオデーにおいて「世界ポリオデー IN 2780」を開催し、各グループ、クラブで大規模な「ポリオ根絶キャンペーン」を開催することで効果的でユニークな活動を行うことができました。このプロジェクトは「世界ポリオデー IN 2780実行委員会」で計画し、ガバナー補佐を中心に実施しました。

### 「ラッピングバス・バスジャック」

地区内全域で神奈川中央交通の7台の路線バスの車体に「END POLIO」の図柄を貼り付けて「ラッピングバス」として3か月間にわたり走ってもらうことができました。多くの方から驚きの声をいただき、マスコミでも大きく取り上げられました。そして「バスジャックプロジェクト」として車内広告(神奈川中央交通・箱根登山鉄道・伊豆箱根バス・箱根登山バス・大雄山鉄道・京急バス)をして多くの乗客に“ロータリー活動”を見てもらうことができました。

すべてバス・鉄道会社様のご協力で実施できたプロジェクトでポリオ根絶を通じてロータリーの認知度の向上に貢献くださった各社様に感謝の意を表します。

### 「ポリオ根絶・コロナ鎮静祈願祭」

グループごとに「ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭(伊勢原大神宮・亀ヶ池八幡宮・平塚八幡宮・箱根神社・座間鈴鹿明神社・寒川神社)」を執り行い、当地区のEND POLIO活動をSNSを通じて多くの方に伝えることが出来ました。同時に多くのクラブで駅前ポリオ根絶キャンペーンが開催されました。

### 「世界ポリオ根絶サミット in 2780」

10月24日の世界ポリオデーでは「世界ポリオ根絶サミット in 2780」としてインドのポリオ関係者とオンラインで結びサミットを開催しました。基調講演にロータリー財団管理委員の三木明氏より「RI・TRFのポリオへの取り組み」、湘南ヘルスイノベーションパークのジェネラルマネージャー藤本利夫氏には「感染症とiParkの役割」、そして国際ロータリーポリオプラス日本担当アボドカシーアドバイザーの小沢一彦氏にまとめと未来へ繋がるメッセージをいただくことができました。

当地区が実施した一連の「ポリオ根絶活動」は日本の34地区の「エンドポリオキャンペーン」の中でも、誰もが注目する事業となりました。

### 「ロータリー奉仕デー」

「ロータリー奉仕デー」は従来行っていたIMのフォーラムに替えて各グループで市民・地域団体と共に大規模な奉仕活動として実施しました。ガバナー補佐の皆さんの素晴らしい企画・行動力で実現されました。クラブ会員相互の交流とロータリーの認知度を高めることができましたと思っています。

### 「新クラブ」

会員増強は厳しい結果になってしまいました。最終的な会員数は出ていませんが、速報では15名の減となってしまいました。会員増強の難しさ、小生の力不足を痛感しております。しかしコロナ禍で会員増強をしてくださった皆様に感謝します。そんな中で神谷会員中心に新クラブ(かながわDEIロータリークラブ)が発足し6月27日に認証伝達式が出来たことはガバナーとして大変うれしいことです。

また災害寄付では熱海土石流災害・熊本豪雨災害・ウクライナ支援で会員の皆様から貴重な浄財をいただきました。ありがとうございました。

「人生は思い通りにはならないが、やった通りになる」という言葉があります。思い通りにならないこともありますが、夢に進んで行けばやっただけのことはあると感ずることができました。すべてに感謝し、他人のために尽くし、お互いに喜び合うことが出来た一年でした。

最後に2022-23年度が佐藤祐一郎ガバナーにとって、そして第2780地区にとって、素晴らしい年度となりますよう、心からお祈り申し上げます。

**一年を振り返って**

**第1グループ・ガバナー補佐**
**北村 理和子** (横須賀 RC)

**『奉仕活動の実践』を振り返って**

2021-22年度 地区行動目標の打ち出しに則り、第1グループの活動報告を申し上げます。

1・ 会員増強維持拡大:コロナ禍に在り前半は例会の実施も難しく結果、入会者を超える退会者によりまして実質は会員減少となりました。

2・ ロータリー奉仕デー:ロータリーの重点項目の内「環境」をテーマに実施。第1グループ5クラブ、RAC、IAC、米山奨学生、横須賀市内地域高校生、ボーイスカウトの皆さん、総勢300名の参加を基に、市内10,000m清掃活動と、前環境大臣小泉進次郎氏を講師として SDGs「環境と経済が一つになる時代」の講演会を実施致しました。

3・ 世界ポリオデー:ポリオキャンペーンポスターを三浦、横須賀、鎌倉地域を運行の京浜急行バスのご協力によりバス車内に掲載して頂きました。又、第1グループ合同奉仕事業として RAC、IAC、米山奨学生により主要駅にてポリオ根絶募金活動を実施いたしました。この活動を通して、ポリオ根絶に対するロータリーの支援の継続が如何に必要であるかを参加者全員で認識する機会となりました。

数年来、青少年を含めロータリーの活動が規制された中でしたが、奉仕活動の実施により改めて活動意義を認識した事と共に、次年度以降も会員交流と奉仕活動の継続として、合同で実施する旨を申し上げます。

年頭に「奉仕活動の実践が始まります」と銘を打ってスタートいたしました。結果関係各位のご協力を頂き実現できました事に感謝申し上げます。1年間誠にありがとうございました。



**第3グループ・ガバナー補佐**
**棕梨 兼彰** (藤沢 RC)

**『AG任期を振り返って』**

2020年8月、瀧澤秀俊PAG(物静かなひつじ)からの電話から始まり、私(華やかなこじか)のAEGの準備期間を含めて約2年間のAGとしての役目を無事に終えることができました。コロナ禍の中、

AGE研修もZoomで行うなど思うように行えない状況の中での不安ばかりのスタートでした。田島透ガバナー(正直なこじか)の指導の下、第3Gでは「江の島オリンピック会場での団扇の配布」から始まり、「ふじさわ元気バザール」、「世界ポリオデーin2780」ロータリー奉仕デーの「カンボジアまごころお届けプログラム」「Hopeful Harmonyチャリティーコンサート」等、様々な活動ができたことをうれしく思います。次年度永松秀行AG(社交家のためぎ)に引き継ぎまして次年度佐藤祐一郎ガバナー(強い意志を持ったこじか)の指導の下、第3Gの更なる活性化をお願いしたいと思います。最後にAG任期中ご協力頂きましたご関係者の皆様ありがとうございました。



**第2グループ・ガバナー補佐**
**石田 隆** (逗子 RC)

2021-22年度の1年を振り返ってみると、一番に思い浮かぶのは、やはりコロナ禍で対面が厳しい中でも知恵を出して何とかリアルでの会長幹事会やロータリー奉仕デーにご協力頂いた会長幹事の皆さんとの楽しい時間が一番の思い出です。

会長幹事会は、蔓防のため何度かはZOOM開催になりましたが、大半はリアル開催が出来て幸運だったと思います。お酒を酌み交わし本音で語り合える楽しい場でした。

ロータリー奉仕デーでは、松井実行委員長を中心に会長幹事さんと実行委員会を組織し、打ち合せを重ねてロータリーファミリーデーを開催できました。ロータリーファミリーである新世代の方々のプログラム紹介を通してロータリアンを深く理解して頂く良い機会となりました。またチャリティーコンサートにおいても会長幹事さんの協力が心強かったです。コロナ禍でも常に明るく前向きな皆さんには本当に助けて頂いた1年でした。

第2Gの会長幹事の皆さんに感謝申し上げます。



**第4グループ・ガバナー補佐**
**三澤 京子** (寒川 RC)

昨年に続きコロナ禍での1年でしたが、田島透ガバナーは地区ビジョンと戦略計画を地区方針に取り込まれ、フューチャービジョンセミナーや世界ポリオデーと祈願祭・ロータリー奉仕デー等、今までにない地区行事を掲げられました。

新しい企画を実行する側としては、いつ緊急事態宣言が出ても良いように、または、まん延防止が出たらこうしようと、次の手をいろいろ考えなくてはならない状況でした。コロナ禍を意識しながらの動きはとても難しかったのですが、ガバナー補佐の役割としてはその分やりがいもあり、実施後には充実感・達成感がありました。第4グループ内クラブについては、初めてのAG訪問やガバナー公式訪問がオンラインであったり、会長幹事も1/2がzoomという状況でした。そのような状況の中でもwithコロナでハイブリット例会の継続開催を試みて下さるクラブも多く、また各クラブそれぞれに会員増強維持も行われ、終わってみれば動きを止めずに1年間を走り続けた第4グループ6RCであったと思います。各クラブの皆様のご協力に感謝申し上げます。



## 第5Aグループ・ガバナー補佐

苗村 泰徳 (相模原 RC)

### 『楽しかった一年』

長いようで短かった。短いようで長かったというのが任期を終えた時の感想です。シェカール・メータ国際ロータリー会長及び国際ロータリー第2780地区ガバナー田島透氏のロータリーに対する非常に熱い想いを常に感じていました。その熱に引っ張られて楽しくロータリー活動をする事が出来ました。



例年に比しての今年度の特徴は、「世界ポリオデー」と「ロータリー奉仕デー」の実施の二つでした。世界ポリオデーは、10月24日の世界ライブサミットに焦点をあて、9月から公共交通機関(バス・電車等)に「ポリオ根絶」のラッピング広告や中吊り広告を3ヶ月間にわたり実施いたしました。また、グループ内の6グループで「ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭」が開催されました。第5グループでは、10月10日に亀ヶ池八幡宮で実施されました。J:COMさんのニュースを始め複数のメディアに取り上げていただき、ポリオについても関心を持っていただけたと思います。もう一つのロータリー奉仕デーは、ロータリアン以外に多くの一般の方々にも参加いただいて奉仕活動等を行ない公共イメージの向上をはかろうというものでした。第5グループでは、「ホテル舞う相模原」と銘打ってホテルの講演会・勉強会を実施しました。一般の方も含めて百数十名の参加をいただきました。また後日、子どもたちもたくさん集まってくれてホテル観賞会が開催でき、多くのホテルが舞っているのを目の当たりにすることが出来ました。

皆様のご理解とご協力をいただききとかやってくることが出来ました。衷心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

## 第6グループ・ガバナー補佐

常磐 重雄 (厚木 RC)

### 『充実した1年間でした。』

田島ガバナー補佐年度は、新しいことづくめの1年間でした。

世界ポリオデーに始まり、ロータリー奉仕デーなど、田島ガバナーの千本ノックを受け続ける毎週でした。年度の前半は、毎週土曜日の夜8時から約2時間、田島ガバナーとAGとの懇親会という名の打合せが行われていました。お酒も入りつつだったので、実は私は途中で寝落ちしてしまっただけでもありません。

ただ、お陰様で、充実感は満点でした。

各クラブの会長に、世界ポリオデーやロータリー奉仕デーの実施を理解していただくことに始まり、実際の企画、奉仕活動の実施に至るまで、お願いしなくてはなりません。

幸いにも第6グループは纏まりが良く、そこまで苦労はなく、むしろ会長幹事会の一体感が増す結果となりました。やはり、親睦と奉仕活動がロータリーの根幹であると改めて感じました。

6月末には田島ガバナーと4人の女性ガバナー補佐を含めた全員で慰労旅行も実施できまして、思い残すことの無い1年間のAG生活でした。ありがとうございました！



## 第5Bグループ・ガバナー補佐

畷住 悦子 (相模原中 RC)

2020年年初から新型コロナウイルス感染症拡大により地区大会やIMの縮小や中止が相次ぎ、親睦の機会や出会いが減っているように感じていました。私自身は今まで会長幹事会に出席した経験が楽しかったのも、批判もあると思います。会長幹事の皆様の協力により対面の会長幹事会の開催を続けることができてよかったです。会長幹事の皆様にとっても楽しかった1年であれば幸いです。



またクラブ主体の活動が思うようにいかない中、「世界ポリオデーin2780」にてポリオ撲滅祈願祭やバスジャックプロジェクト、世界ポリオ根絶サミットなどグループを越えて連携し新しい活動の可能性を提示できたと思います。奉仕デーは市や地元の団体と協力して幹事クラブ、実行委員中心に一から作り上げ良質なイベントとなりました。

2022-23年度は順調にいけばクラブの活動も活発化し、親睦や奉仕活動の機会も増えるでしょう。より多くの会員が参加して楽しめる「記憶の残る年」になるよう期待します。

## 第7グループ・ガバナー補佐

大屋 富茂 (秦野名水 RC)

ガバナー補佐の大役を拝命し、マイロータリー及び地区に於ける8回にわたるガバナー補佐事前研修を修了し、7月よりガバナー補佐としての1年がスタート致しました。

「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」メータRI会長のテーマに沿い、田島ガバナーは地区方針を明確に発信されました。当初、毎週土曜日午後8時からZOOMによるガバナー・ガバナー補佐との懇話会はコミュニケーションの構築、夫々の悩みを吐露する絶好の機会でありました。結果として「世界ポリオデー」「ロータリー奉仕デー」と各グループが1枚岩となって事業に邁進する原動力となりました。

第七グループ内の「ガバナー公式訪問」は全て対面にて終了することが出来、毎月予定の「会長・幹事会」は前半、ZOOMにての開催を強いられましたが、後半は懇親会と合わせ開催することが出来ました。混乱する時代の中で、様々な活動に前向きにチャレンジしていただきました各クラブの会長・幹事・会員そして事務局員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

ロータリアンとして過去経験したことのない貴重な勉強をさせて頂きました。

田島ガバナー・ガバナー補佐のお仲間・木村地区幹事をはじめ地区チームの皆様、そして期間中ご縁を頂いたロータリアンの皆様に改めて感謝と御礼を申し上げます。1年間ありがとうございました。



**一年を振り返って**

**第8グループ・ガバナー補佐**
**鳥山 優子** (平塚 RC)

ガバナー補佐を拝命した時、私は正直、不安でいっぱいでした。なぜなら、これまでの会長職とは全く違った役割だったからです。

ガバナー補佐の役割は、自分ではなく、“ガバナー”の想いを実現すること。そのため、ガバナーと会員、双方とこれまで以上に密なコミュニケーションを取る大変さがありました。

一方で、様々な方ともご縁ができました。そのおかげで、私の不安も少しずつ消えていき、ポリオデーや奉仕デーで新たな挑戦ができたと思います。

そうした活動が評価され、先日シェカール・メータ会長から『Best Rotary Days of Service』の表彰状を拝受いたしました。まさに、「ガバナー補佐をやってよかった!」と思える瞬間でした。

新たな挑戦をする時、人は誰でも不安になります。でも、やってみなければわからないことの方が多。だったらまず挑戦してみる。きっとその方が、人生楽しめる。ガバナー補佐になって、改めてそのことに気づいたような気がします。



**地区幹事**
**木村 哲也** (ふじさわ湘南 RC)

振り返れば3年前に田島透ガバナー年度の地区幹事をオファーされ、クラブ会長も幹事も未経験の自分はロータリーについて右も左もわからず、ひたすら勉強の日々でありました。

地区に出ると地区役員の皆様が真剣に事業に取り組んでいらっしゃる姿を目の当たりにしました。気持ちが引き締まる思いになり、また責任の重大さに緊張したのを思い出します。

そこに新型コロナウイルスの世界的感染拡大です。社会は自粛モードとなり、地区の催し、クラブ例会は中止やオンラインになる事態になりました。ホノルル国際大会も台北国際大会も中止。当然懸念されたのが田島年度の地区大会開催の有無です。

我がふじさわ湘南を中心として第3グループの皆さんが苦勞して準備していたので、何とか開催実現を願っていました。神奈川県緊急事態宣言と睨み合いながら模索し、期日は3月に延期しましたが、結果無事開催することが出来ました。大会当日、晴れて執り行われている様子を見て、胸が熱くなる思いでした。

今となつてはこのような稀有な経験をさせていただいたことは有意義な時間だったと実感感謝いたしております。



**第9グループ・ガバナー補佐**
**木村 隆也** (小田原 RC)

2021-22年度もコロナ禍の中でのスタートとなりましたが、7月からのAG訪問、ガバナー公式訪問そして毎月の会長幹事会など各クラブのご協力により開催できたこと、大変喜ばしく思っております。

今年度は、2つの大きな事業がございました。ひとつが「世界ポリオデー」に向けての「ポリオ根絶キャンペーン」、もうひとつが「ロータリー奉仕デー」です。

どちらも晴天に恵まれ、無事に開催することができました。少なからずとも「地域社会へインパクトを」という目標が達成できたと思います。

改めて奉仕事業の大切さ、奉仕をさせていただく喜びや感動、そして第9グループの団結力を感じさせていただきました。

補佐として本当に多くのことを学ばせていただいた1年でした。

思えば、一昨年の11月に緊張から始まったAGE研修。毎週土曜日のZoomによる補佐懇談会は、時には日付が変わるころまで語り合いました。

このことが、のちの事業にもつながり、何よりも補佐の皆様との結束力を強めたと思います。

地区の皆様、第9グループの皆様、また事業を開催するにあたりご協力をいただいた企業の皆様にも心より感謝申し上げ、1年を振り返ってのご挨拶とさせていただきます。



**地区戦略計画委員会**
**委員長 相澤 光春** (ふじさわ湘南 RC)

当委員会委員長を仰せつかり、一番大切にしてきた事は、委員会メンバーの方々との出会いに感謝し、1年間地区の戦略計画を議論し合え、メンバーのご尽力により地区ビジョンと4つの優先事項と16の行動目標を定めることができました。

戦略計画は、ロータリー活動が地域に広く認知されて、ロータリーのイメージなどを理解して頂く事にあります。

今年度は、地区ビジョンなどを各クラブにご理解頂き、クラブの戦略計画創りの一助になればと活動してまいりました。

戦略計画を実践することにより、素晴らしい人との出会いとつながりを生じ、人との出会いはその刺激を受け感化されることとなり、自分自身の成長の糧となるのではないのでしょうか。

1年間地区戦略計画委員会にご出席ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。



## 地区研修委員会

委員長 杉岡 芳樹 (相模原 RC)

2021-22年度田島ガバナーのもと研修委員長を務めさせていただきました。

研修委員会主催の大きな事業として、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会を開催させていただきました。2年間オンラインでありましたが、どうにか対面で開催することができました。しかしながら、ほとんどの委員が対面での開催を経験したことがなく、過去の開催事例を参考にして、企画、実施をさせていただきました。それぞれの委員の皆さまの叡智と実行力をもって、充実した各研修会・セミナーを開催できたのではないかと思います。

また、次年度ガバナー補佐研修については、佐藤ガバナーエレクトの強い熱意で、10月より、例年よりも多い9回の開催をいたしました。佐藤ガバナーと一体となったチームづくりのためにプログラムを実行いたしました。

一年間、委員会委員の皆さま、またご協力をいただきました皆さまに感謝を申し上げます。



## 姉妹地区委員会

委員長 佐野 英之 (秦野 RC)

このコロナ禍の中の一年間、委員会一同新たな気持ちで新年度の更なる発展を目指しスタートした委員会も、大過無く無事に終了出来ました事に感謝すると同時に、第3662地区との姉妹関係も新たな段階に入ろうとしております。

さて、RIが推奨する国際奉仕の目的に「他国の人々とその文化・習慣・功績・願い・国際意識を培い、国際理解・親善・平和を推進する為に会員が行う行動から成り立つ」との主旨の下に、昨年度から新たに企画推進した両地区の女性会員間の友情の「絆」を基に、当地区に於ける女性会員の会員増強を計る一助として地区の皆さんと共に第3662地区との認知度を深めてまいりました。又、初のzoom会議として、D.K.Lee元RI会長並びに小沢元RI理事様をお招きし盛大に開催出来た事は委員会一同感激に耐えませんでした。この会議で更なる女性間の交流に励み友情の絆を深める計画を建てる事と成りましたが、相互間の交流進展がコロナで進みませんでした。又、初の韓国大使姜正一様が地区大会に参加される予定でしたが母国の事情に依りビデオレターに成った事は残念でした。

次年度は3662地区は女性がガバナーです。女性からの新たな感性での視点が開かれるかも知れません。期待したいと思っております。

以上の様に本年度を振り返ると、コロナの影響が大で思う様に動けませんでした。次年度に期待をして反省の糧と致したいと思います。皆様方の温かいご理解ご協力感謝申し上げます。



## 地区危機管理委員会

委員長 宮本 清志 (横須賀南西 RC)

「何もなくてよかった」これが正直な感想です

2021年11月12日に講師に元RIJYEMの黒田氏をお招きし、対面、ZOOM合わせて約180名の出席で行うことができました。今までは事後のためのことに比重がかかっていましたが、これからは事前のリスク管理が必要だと思います。予期せぬ事件、事故、災害が多く発生している昨今、危機管理の必要性が重要だと思われまます。「地区危機管理規定」「危機管理連絡網」今年度見直しをしましたが、これらは世界情勢如何では何度でも改定する必要が不可欠だと思います。

ハラスメントについても多種多様なところがありますので、リスク管理は各クラブで話し合っていたいただき、その管理の下で多くの奉仕活動をお願いしたいと思います。



## 地区ホームページ委員会

委員長 小野 良太郎 (秦野中 RC)

本年度も昨年度のようにすべてzoom形式ではありませんでした。が、コロナ禍に悩まされた一年でしたが、RI会長シェカール・メータ会長はテーマに「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」と掲げられており、その奉仕活動等、地区事業や各クラブの奉仕活動をアップでき、動きのあるHP公開を目指し一年間活動してまいりました。2月末に何とか公開することができましたが、会員の皆様のお役に立てるHPにするためには、まだまだアップデートが必要だと考えております。実際2月末公開以降、いろいろなご指導いただき改善しております。今後も委員会メンバーで議論を重ね、より良いHPにしていきたいと思います。委員会のメンバー、アシスト・ワン様、ガバナー事務所の皆様等関わっていただいた全ての関係者様に感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



## ロータリーの友 地区代表委員

辻 彰彦 (大和 RC)

入会以来「ロータリーの友」は、身近な存在ではあった。この一年間、改めて本誌を精読する機会を得ての発見は、温故知新にも似た思いを新たにさせられました。

コロナ禍で、日本のみならず世界でも常と異なる社会環境の最中にウクライナの衝撃は大きく、これらの出来事は常に誌面に影響を与え続けた感を強めた一年でした。



ロータリーの友、縦組記事中の「スピーチ」は、タイムリーなテーマで、社会性と啓発に富む内容から、若者の薬物、少年へのゲームの影響、東日本大震災体験、海洋マイクロプラスチックの問題は特に記憶に残るものでした。それぞれの筆者は、単に声高にその危機なり問題性を主張するだけではなく、実体験で問題に向かい合う姿勢は説得力と共感を覚え、ロータリアンにとどまらず社会の多くの方々に現実として知っていただきたい内容と感じた次第でした。

ロータリーの女性会員に関する特集は、女性会員のフィルターから見たロータリー活動のあり方を示すものとして注目し、当年3月号で取り上げられていた、ロータリー設立117年にして女性会長となったジェニファー・ジョーンズ会長の「ジェンダーは意識していない」との発言は、問題の本質を示唆してくれるものでした。

最後に各地のロータリークラブでの活動、趣味、留学生などを取り上げ伝える毎号の記事は、常に活動が共にあるとの意を強くするもので、この一年、本誌と接する機会に感謝し、今後も自己の啓発、学習意識をもってロータリアンとして活動に臨みたいと思います。

## クラブ支援推進委員会

委員長 杉崎 信一 (相模原南 RC)

「地区はクラブのためにある！」をモットーに、クラブのサポート強化として「クラブフューチャービジョンセミナー」の開催、コロナ禍で延期となり12月の開催となり委員会を超えた多数のご協力をいただき開催ができました。その後、クラブビジョンや行動計画立案の参考になったクラブもあると聞いております。次に、「よろず相談掲示板」の活用についてはPR不足により期待以上に活用されなかったことは反省点であり、翌年度に期待いたします。続いて、柔軟性あるクラブ運営を促す「DEI」については勉強会を中心に行い、今後ロータリー活動に於いて必要不可欠なことと委員会内で議論を行い、その後、幹事セミナーでの発表となりました。



「ロータリー賞への挑戦」の推奨については、新年度前の6月よりPRを行う必要があり、60%程の挑戦に終わりましたが、翌年度はPRの成果も期待出来るはずで。

最後に、今年度はロータリーの勉強と新たに仲間が出来た一年でもありました。委員会に配属いただきました、田島ガバナーには感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

## 地区クラブ管理運営委員会

委員長 大隈 秀仁 (相模原ニューシティ RC)

今年度、地区クラブ管理運営委員会では、クラブ支援推進委員会・規定審議会担当委員会・デジタル化推進委員会の3委員会で活動を行って参りましたが、いずれの委員会も「地区はクラブのためにある」をコンセプトに掲げて



クラブの管理運営に関する支援を行って参りました。主な事業としましては、クラブ活性化の一環として「クラブフューチャービジョンセミナーの開催」、規定審議会並びに決議審議会への提案を推奨することを目的とした「説明動画」の制作、My Rotaryの活用を促進するための「My Rotaryアカウント登録」の推進、ロータリーに関することを気軽に質問ができるツール「よろず相談掲示板」の活用促進及び質問への対応等、コロナ禍ではありましたが活発に活動ができたと思っております。今年度当合同委員会の活動が少しでもクラブ運営の一助となれば幸いです。1年間、当合同委員会で活躍していただいた3委員長をはじめ、委員会の皆様へ深く感謝申し上げます。

## 規定審議会担当委員会

委員長 鈴木 高広 (相模原ニューシティ RC)

私たちの委員会は、大きく分けて三つの事業を行ないました。一つはクラブ管理運営委員会のもと、クラブが長期戦略計画の策定を行なって頂けるように「フューチャービジョン会議」を他の委員会と連携し、企画立案・実施をいたしました。委員会メンバーには、多くの時間を割いて頂き、会議のファシリテーターの役や書記の役割など大変なご苦勞ではなかったかと思ひます。



二つ目は、ロータリーの定款や細則について2022年7月1日から変更になることでの対応等を委員会メンバーからアイデアを募り動画を作成しました。次年度も参考にして頂けると聞き大変うれしく思っています。三つ目は、次年度幹事研修です。時代がものすごい勢いで変化し、ロータリー内も変えてはいけないものと変えなくてはいけないものを佐藤ガバナーエレクトにご指導頂き開催をいたしました。当委員会の活動が各クラブの活動の一助になれば幸いです。ご協力頂きありがとうございました。



## デジタル化推進委員会

辻 彰彦 (大和 RC)

2021-22年度デジタル化推進委員会は、田島ガバナーの方針を理解し、次の内容を目指すのが責務であり、今年度の主軸といたしました。

- My Rotaryアカウント登録推進及び活用の促進
  - ・アカウント登録率アップ及び活用促進の実施
  - ・マイローターアカウント登録マニュアルの更新及び動画化
- クラブ・デジタル化の推進
  - ・クラブ例会・イベント等のオンライン化、ハイブリッド化の推進及びサポート
- 地区チームの情報共有環境の構築
  - ・地区チーム内での情報を共有するため、新たな情報共有ツールを導入
  - ・各委員会とのスピーディーな情報交換を実現
  - ・デジタルの目的イベントとして誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を推進。
  - ・クラブ活性化ワークショップ、フューチャービジョン会議セミナー、世界ポリオデー及びロータリー奉仕デーのサポート
- 木曜デジタルでしよう
  - ・デジタルの活用の苦手な方へ、一人一人のニーズに合った質疑応答の実現
- Google Workspace
  - ・Googleアプリを活用して「設備投資ゼロで始めるDXを実現」という体験セミナーを実施



SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)は、世代を超え世界中の人と繋がることのできる大変便利なツール。国際ロータリーでもFacebook(フェイスブック)を積極的に取り入れ会員がどこからでもオンラインで参加できるEクラブの形態をとり、Facebook上で情報交換が行われました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、あらゆる活動に支障が生じている状況下においてロータリーライフを楽しんで頂けるように、デジタル環境を利用して元気なクラブづくりを支援することに全力を注ぎました。

素晴らしいメンバーとの信頼関係の上で連帯し、助け合うことで厳しい日々も乗り越えられ、絆の大切さを教えて頂いた一年でもありました。多大なるご協力を頂きました関係各位に深く感謝申し上げます。一年間、ありがとうございました。

## 地区会員増強維持拡大委員会

委員長 岩澤 あゆみ (茅ヶ崎 RC)

時代はまさに変革の時。クラブ運営や、会員の維持や増強についての課題も多様化しています。そのような中での地区委員会の役割とは？と常に考えながら活動していたように思います。クラブに寄り添いながら、が委員会の想い。数年後を見据えて今なにをすべきかを考え、数々の新チャレンジをしました。オンラインでの新会員のインタビューでは、一人ひとりの新会員さんのお声をじっくりと伺い、新会員さんがロータリーに求めていること、これからやりたいことを伺い、YouTubeを使い発信をしました。また、グループ別のオンラインやリアルでの親睦会、米山生とのバス旅行など、クラブを超えた出会いと学びの機会を作りました。卓話は、各クラブの状況やニーズの把握に努め、クラブ毎に内容を変えた資料を作り実施。パンチある増強セミナーも開催出来ました。少しでも種まきが出来ていたら幸いです。ご参加、ご協力頂いた皆様、最高の委員会メンバーの皆様、本当にありがとうございました。



## 地区公共イメージ委員会

委員長 當間 安弘 (茅ヶ崎中央 RC)

終息されないコロナ禍での2年目の委員長となりました。大変ミッションの多い年でした。クラブ活性化ワークショップはリモート形式の開催となり、その後の良い経験になったと思います。そして、世界ポリオデーinD2780にも関わらせていただきました。ブランドアイデンティティーの一環で、オックスフォードシャツの制作をし、地区で270枚を会員のお手元にお届けいたしました。多様なサイズで受注生産としたために廉価で提供できました。担当委員には過大な負担をかけたと思いますが、その分メンバーには喜んでいただけたと思います。



一昨年から続けてきたFacebookライブ配信もYouTube版を、ホームページ委員会の協力で、地区WEBのトップページからアクセスできるようにいたしました。また、途中からではありませんが、サムネイルという手法を使い見てみたいと思う設えを委員が提案してくれて何歩も前進することができました。一年を終えられましたこと委員みなさまに感謝いたします。

## 地区奉仕プロジェクト委員会

委員長 端山 創之 (藤沢西 RC)

職業、社会、国際奉仕の3委員会が連携を取り情報を共有出来るように活動いたしました。職業奉仕委員会は、職業奉仕月間に卓話を実施させていただきました。また卓話を音声付きのパワーポイントで作成し、各クラブが職業奉仕を学ぶ機会を提供しました。社会奉仕委員会は、社会奉仕委員長会議を開催しました。本年度から重点分野として加わりました環境保全を取り上げ2クラブにお話しをいただき、分科会では、各クラブ情報交換をしていただきました。国際奉仕委員会は、「国際奉仕を考える会」～(チャレンジしよう国際奉仕)と題して、国際奉仕委員長会議を開催しました。国際奉仕活動をチャレンジし易くなるような内容で各分野5名の方にご講演をいただきました。分科会では奉仕活動をする上での悩みや不安等を話し合い、情報を共有しました。



コロナ禍であっても各クラブ、各グループとも工夫しながら奉仕活動をされておりました。皆様に敬意を申し上げご報告とさせていただきます。

**一年を振り返って**

## 職業奉仕委員会

委員長 **前沢 弘之** (津久井中央 RC)

職業人たる私が、仕事を早めに切り上げて、否、途中で放り出して、藤沢に向かう。この3年間、その繰り返しだった。そして、職業奉仕委員長たる私は、「ショクギョウホウシハナンカイダ」と耳にこだまさせながら、確かに、そいつは論理を超えた信仰のようなものかも知れないなんぞと思う。それでも、間違いないのは、こうした悩みを悩むことが、ロータリーの奥深さを知らしめ、私達の奉仕に奥行をもたらすということだ。



よき先輩、よき同志、事務局さんたちの心優しいサポートにも恵まれて、楽しい年月を過ごさせて頂いた。胸に浮かぶのは、もしもあの人がいなかったら…ということばかり。誰と出会い、何を語り合ったか。地区委員会の存在価値の大きな部分が、そこにあると思う。さて、頼りない委員長だった私は、誰かに少しでも、そんな思いを抱いてもらえただろうか？

皆さまに、心からの感謝を捧げます。

## 国際奉仕委員会

委員長 **山口 俊明** (藤沢東 RC)

「国際奉仕丸を出港させよう！」を題目に各クラブの国際奉仕活動の参加意欲が高まるよう情報提供をしてまいりました。4つのワーキンググループ(WG)を設定し



- 『1地区・国際奉仕参加推進WG
- 2地区・リソースネットワークWG
- 3地区・国際奉仕メディアWG
- 4地区・国際奉仕委員長会議WG』

委員会委員の皆様それぞれに役割・担当を決めさせて頂き、責任の一端を担っていただいた事により団結力が高まり充実した議論が出来ました。クラブ国際奉仕活動アンケート調査や国際奉仕委員長会議の開催にも反映されました。

国際奉仕委員長会議は2022年3月6日、第一相澤ビルにて開催。「国際奉仕について考える」～(チャレンジしよう国際奉仕)をテーマに、コロナ禍、国内でできる国際奉仕にフォーカスした講演と国際奉仕に参加する悩み、コロナ禍にどのような国際奉仕ができるかをテーマにグループディスカッションをして頂き高評価を頂きました。1年間支えて頂いた委員会委員の皆様をはじめ関係各位の皆様にご感謝申し上げます。

## 社会奉仕委員会

委員長 **田中 重光** (茅ヶ崎中央 RC)

2021-22年度の社会奉仕委員会は ①コロナ禍で活動が制限される中、各クラブの社会奉仕委員長とディスカッションする機会をもつ ②各クラブの行った奉仕活動を地区ホームページやMy Rotaryのショーケースへアップしてもらおう ③新たに重点分野に加わった「環境」について委員会として理解を深める という3点に重点をおき活動してまいりました。



①につきましては2月10日に大雪警報の中、リモート参加が多かったですが「社会奉仕委員長会議」を実施し今年度社会奉仕に携わる71名の方と、環境のことやコロナの中での奉仕活動について話し合いを持つことができました。②についても2月10日の会議で各クラブへ、もうすぐ地区ホームページが新しくなり奉仕活動を載せやすくなること、ロータリーショーケースへの載せ方などを伝えました。③については委員会内で個人として、クラブとして、地区としての視点で3回にわたり討議しました。

委員会メンバーの方には真摯に取り組んでいただき感謝申し上げます。

## 地区青少年奉仕委員会

委員長 **岡田 英城** (横須賀 RC)

地区青少年奉仕委員長として、インターアクト・ローターアクト・青少年交換・RYLAの各委員会の皆様と共に、12歳からの若人を対象に年齢別・プログラム別にテーマを設け青少年の健全育成を図り、国際社会・地域社会において、「未来のリーダーを育成する。」というミッションの中、活動してまいりました。



コロナ禍の中、対面での活動が出来ないこともありましたが、インターアクト年次大会、ローターアクト年次大会などはオンラインで実施し、個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技術を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、リーダーとしての力を身につけ、未来に向けての成長、そしてより良い信頼関係を推進する機会だったと考えます。また、ROTEX会員がインターアクトのアクターズミーティングにおいて青少年交換事業を体験者として語り、ローターアクトとも交流が進み次年度に向けた取り組み(新世代交流会企画・運営)などにも発展しました。今後に向けてよい活動が出来たと考えており、ロータリー会員の皆様のご更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

## インターアクト委員会

委員長 大河原 幸夫 (相模原西 RC)

今年度も昨年同様にコロナ禍の影響を色濃く残した1年間となりました。準備段階ではフルメニューで企画をしていたものの、結果としてはインターアクト4大事業と言われる「年次大会」「海外(台湾)研修」「新世代交流会」「1泊研修」全てが中止となりました。毎月委員会後に開催するアクターズミーティングも緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発出中は中止を余儀なくされ6回しか開催出来ず、その内3回はフルオンライン開催となりコミュニケーションが取れない難しい運営でした。



しかし、オンラインでのXmas交流会やROTEX、米山奨学生、ローターアクターに参加頂く機会を作る事が出来ました。また、3月には青少年たちが自ら準備して作り上げた対面での日帰り研修会・台湾とのオンライン交流会を行えたことは最後にアクターに達成の喜びを感じてもらえたと考えています。

2年間以上の活動停滞により、インターアクター数の減少が著しい状況ですが、次年度以降活動が正常化することにより盛り返すことを願っております。

## 青少年交換委員会

委員長 玉木 茂 (秦野 RC)

### 『交換学生のいない「青少年交換委員会」』

2021-22年度の青少年交換委員会は、交換学生のいない委員会活動でした。

コロナの影響で、青少年交換プログラムの実施が困難でありました。しかし、この機会に委員会の理解と結束を深め、ROTEX活動の成長に結びつき、各クラブの卓話やインターアクトの例会やコンサートに参加する機会をいただき、成長を感じるいい機会となりました。委員会は、ZOOMでの活動が多くなりましたが意見交換が多くでき、青少年奉仕の意味を理解し共有することができたと思います。

次年度は青少年交換の募集を再開します。新井委員長を中心に実行していきます。これからもどうぞよろしくお願ひします。



## ローターアクト委員会

委員長 大野 宏一 (逗子 RC)

### 『シン・ローターアクト委員会報告』

2021-22年度地区ローターアクト委員会では、基本第3日曜日13:00より1時間30分例会を実施(全10回内ハイブリッド例会9回)いたしました。

コロナ禍で活動自粛ということもあり、2019年規定審議会修正動議でのローターアクトのRI加盟承認後の変更点を重点的に話し合いを続けてきました。

委員長としては1年間をかけて、各種キーワードなどからロータリアンとローターアクトとの共通言語となるものを探る旅であったと考えております。

今後の課題はローターアクトの自立(自律)・同じRI加盟クラブとしてのロータリークラブとローターアクトクラブとの共同(協同)というところでしょうか。

狭い視野に留まることの無いように心掛け、次年度地区委員会への引継ぎ検討事項としたいと思います。



## RYLA委員会

委員長 清水 寿人 (相模原柴胡 RC)

### 『反省ばかりの2年間』

久保田年度から田島年度に引き継がれたRYLA委員会ですが、コロナを理由に何もしない2年間がまた終わろうとしています。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置によって思うような委員会が開催できませんでした。委員会をzoom形式やハイブリッド会議にすれば良かったと今となっては… ただただ反省で委員会メンバー及び期待をして頂いていたロータリアンにはお詫びを申し上げたいと思っております。RYLA委員長も今年度3年目となりますが、少しでもお役に立てるよう2年間の委員会の意向をスムーズに引き継ぎ3度目の正直になるようお手伝いをさせて頂きたいと思ひます。1年間ありがとうございました。



**一年を振り返って**

## 地区ロータリー財団委員会

委員長 **大谷 新一郎** (相模原南 RC)

一年間地区財団委員会に会員皆様のご協力を賜わりありがとうございました。

田島年度の地区財団委員会は5小委員会の構成となり、総員90名余りの大所帯となりました。そのため5委員会合同での開催は無理なので、別に正副委員長会議を毎月行いました。正副委員長の皆様には多大なご負担をお掛けしましたが、積極的に委員会活動を推進して頂いたことに感謝いたします。新たに新設されたポリオプラス委員会はポリオ根絶へのガバナーの熱い思いの委員会でした。

この一年やはりコロナの影響は大であり、ハイブリッド委員会が主流でした。しかしそんな環境の中10月24日に行われました「世界ポリオデー in 2780」はAGの皆様とポリオプラス委員会を中心となり、インドとのZoom会議等地区の総力を挙げてのポリオデーとなりました。この活動は地区外からも多数の問い合わせが有り、大成功だったと思います。

コロナ禍での委員会活動は委員の皆様のご熱意と行動力で見事に困難を乗り越え、目標に向かって委員会活動を推進して頂いたことに感謝を申し上げ、一年を振り返っての感想とします。



## 補助金配分/VTT委員会

委員長 **富田 桂司** (茅ヶ崎 RC)

『財団は楽しく学び、地区でも奉仕!』

今年度もコロナ禍が継続される中、徐々にではありますが、各クラブからの申請案件が増え始める状況となりました。

今年度の地区補助金の申請は13クラブからあり、10クラブが審査に通りました。件数は少ないものの、各委員がつぶさに内容を吟味することが出来た為、非常に良案件が増えた実感しています。また、本来の寄付についての大切さを、補助金を利用頂くことでご理解頂き、プレゼンテーション後、100%寄付で応えて下さったクラブもあり、大変嬉しい限りでした。

また、審査の前夜でウクライナ危機が勃発し、未曾有の円安となり、ロータリーレートが大幅に上がる前にスペンディングプランの提出が間に合うかどうか非常に肝を冷やしました。活動を通じて委員会後にはメンバーとも積極的に懇親会を開催し、中村補助金副委員長のロータリーカードを限度額一杯まで積極的に活用させて頂きましたのも良い思い出となりました。

素晴らしいメンバーにも恵まれ、非常にハードでしたが最高の一年でした。大谷財団委員長、皆様、本当に有難うございました!



## 財団補助金委員会

委員長 **田島 敏久** (相模原西 RC)

財団補助金委員長[2021~2022年度]を終えて

SHOCKINGなNEWSが入ってきました。G・7等、世界平和に尽力してこられた安倍晋三元首相が、凶弾にて死亡、日本では以前から銃刀法の件が問題になっていました。また、ROTARY世界大会が開催されていたHOUSTONの近くで、私たちが参加している近郊で銃の乱射で子供たち13人即死という事件が起きました。米国では以前から、銃刀法に関してはDISCUSSIONされていますが、なかなか難しい問題があるようですが、我々ROTARYでRIはDEIについて活動のBASEにするように指導しています。前向きにご検討しましょう。さて、R-財団の活動に関してはCORONA禍の中で、HYBRID開催を施行しました。2021-2022年度2780地区第1回地区補助金管理セミナー・2021年10月16日、第2回地区補助金管理セミナーが2022年1月29日：第1回、第2回SEMINER CLUB参加総数は35で、関心の高さを裏付ける結果を見ました。詳細については他の委員長に任せます。地区補助金申請11CLUB中10CLUBを厳重な審査会議で承、PLUS地区奨学金1名、地区SUPPORT:補助金管理セミナー費用、以上12CASEが認可された。以上主たる委員会について述べて頂きました。



## 財団資金推進委員会

委員長 **田後 隆二** (相模原中 RC)

『コロナ禍の中、最大限のご寄付をいただき、ありがとうございました。』

年次基金寄付:1人200ドル以上、ポリオプラス寄付:1人40ドル以上、恒久基金寄付:各クラブ ベネファクター1名以上という当地区数値目標は、例年通り会員の皆様に十分ご理解いただいていたことと思います。

しかし、長引くコロナ禍において、ご自身の事業経営が厳しい状況にあり、ロータリー活動もままならず、「寄付どころではない」というお声をいただくことも少なくありませんでした。そのような社会・経済情勢を反映し、年次基金寄付の総額が例年に比して低調であったことは否めません。それでも会員の皆様には、それぞれのご事情に応じた最大限のご寄付をいただいたことに、心より感謝申し上げます。

一方、田島ガバナー、大谷財団委員長はじめ、関係各位のご尽力により、ゼロクラブゼロ(年次基金寄付総額ゼロのクラブがなかったこと)を今年度も引き続き達成することができ、ホッといたしました。



## 補助金管理委員会

委員長 小巻 慎吾 (秦野中 RC)

### 『コロナ禍での地区補助金事業』

補助金管理委員会の仕事は、各クラブさんの行った地区補助金事業の資金面での管理を行うことが主な仕事ですが、配分委員会と連携して、補助金事業の審査のお手伝いも行ってきました。昨年の補助金事業は、新型コロナウイルスの影響で、補助金事業の中止が多かったのですが、今年は、その様な状況の中でも、プロジェクトを成功させたクラブさんや一部実行又は、内容を修正しての実行をされたクラブさんが非常に多かったです。完了報告書を見させて頂き、チェックをさせて頂きましたが、本当にどのクラブさんも熱意と努力が伝わってくる内容のものでした。ご苦労されたことと思います。まだまだ新型コロナウイルスの影響が続きますが、各クラブの皆さんには、是非、地区の委員会と連携して、良いプロジェクトをたくさん行って頂けることをお願い申し上げます。



## ポリオプラス委員会

委員長 神谷 一博 (かながわ DEI RC)

ポリオ(急性灰白髄炎)は非常に感染性の高い病気でありまして、特に感染しやすいのは5歳未満の子ども達です。残念ながら麻痺が発症いたしますと、現在でも治療する薬はありません。麻痺が子供の頃から生涯続く悲惨な病気です。



今年度END POLIO NOWの標語の下「ポリオプラス委員会」委員長を仰せつかり2780地区でのポリオ根絶の啓蒙活動をやらせて戴けた事は誠に遣り甲斐があり、また光栄でありました。この一年を振り返りますと、何といても2021年10月24日の「世界ポリオデー」に向けましての事前の「各種ポリオ根絶啓蒙キャンペーン」、「バスジャックプロジェクト」、「ポリオ根絶・コロナ鎮静化祈願祭」等、また10月24日当日行われました「ポリオ根絶サミットin2780」「インド、デリー南西ロータリークラブとのLIVEサミット」が盛り上がりました事。また、2022年3月21日に行われました「地区大会」の会場においての「END POLIO NOW in2780」ポリオ根絶を目指してと題しまして、今年度ポリオ啓蒙活動の記録発表会を無事に行えました事、次々と思ひ起こされます。常にアドバイスを戴きました田島透ガバナーをはじめガバナー補佐の方々、また地区役員、ポリオ委員、関係者の方々、JCOMの皆様方、この一年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

## 平和フェロー・奨学金委員会

委員長 中山 富貴子 (茅ヶ崎 RC)

### 『人を育てるロータリー財団の世界協力は一つです』

「Fellowships for Advance Study (高等教育の為のフェローシップ)」として開始されたプログラムは世界中の人々が平和の尊さを望む中、次世代の優秀な学生に学ぶ機会を作り、平和と紛争解決分野・安全保障分野でリーダーシップを発揮する人材を育てることです。

平和フェローシップは日本では国際基督教大学(ICU)に平和センターがあります。

新型コロナウイルスの感染拡大により留学延期を余儀無くされていた第2780地区平和フェロー19期生1名、20期生1名は21期生2名とともに2022年夏に漸く来日予定です。

また財団ロータリー奨学生のグローバル補助金奨学生合格者は3名。瀧波栄一郎さんはアメリカ、石塚彩世さんはオーストラリア、鈴木楓子さんはイギリスへ留学され、地区補助金奨学生の菊地更紗さんはアメリカへ留学されます。ロータリー奨学生として世界の繋がりを持つ意味を大切に生かして欲しいと願います。留学先ホストクラブカウンセラーは日本のロータリアンと同じ気持ちで奨学生を応援しています。ロータリーの世界協力は一つです。将来の世界平和貢献のためにロータリアンの皆さまのご寄付が役立てられていることへのご理解と引き続きのご支援をお願い申し上げます。

長きに渡り平和フェロー・奨学金委員会に携わらせて頂き、沢山勉強をさせて頂きました。なにより、委員会の皆さまの素晴らしい団結力で楽しい委員会活動が出来ましたこと、深く感謝申し上げます。本当にお世話になりました、有り難うございました。



## 地区米山委員会

委員長 三荒 弘道 (平塚 RC)

### 『課題は学友会の組織強化』

2021-2022年度地区米山委員会では、1つの大委員会、3つの委員会、計4委員会の構成の中で、奨学・学友・資金推進とカテゴリーを委員会別に分担し、それをまとめていく役割に徹して事業展開を努めて参りました。

コロナ禍でのスタートで常に感染防止に悩まされ、9月の「地球環境プロジェクト海岸清掃奉仕」は中止せざるを得なくなりましたが、それ以外の通常米山事業は委員会メンバー1人1人の努力により全て開催出来ました。特に11月の「米山日帰り研修旅行」では会員維持増強委員会担当の「新会員の集い」との合同開催、「第1回指定校担当教諭との懇談会」及び「第2回米山学友同窓会」では次に繋がる成果がありました。しかし「学友会の組織強化」と「学友からロータリアンへの道筋づくり」においては、まだまだ道半ばと今後の課題もありました。この点は次年度以降にしっかりと引き継がせて頂きます。

結びに、田島ガバナーをはじめと致します地区役員の皆様方、小沢名誉理事長、相澤常務理事、山地評議員、柚木事務局長をはじめとするロータリー米山記念奨学会の皆様、地区内各クラブ会長、幹事、カウンセラー、及びクラブ米山関連委員会の皆様、ガバナー事務所事務局員の皆様には1年間大変お世話になりましたこと、今後もご指導賜ります事を伏してお願い申し上げます、そして1年間頼りない委員長についてきて頂いた、今井米山奨学委員長、早川米山学友委員長、矢部米山資金推進委員長をはじめとする米山関連4委員会全ての委員会メンバーに厚く感謝申し上げます、米山委員会委員長報告とさせて頂きます。1年間ありがとうございました。



**一年を振り返って**

## 米山奨学委員会

委員長 **今井 均** (座間 RC)

### 『米山奨学委員長を終えて』

「すべては奨学生を優先」をテーマに1年間を過ごしてきたつもりだが完璧ではなかったかもしれない。コロナ禍で行事が縮小・中止になりながらも、毎年行われているセミナーや会議の運営が優先して、奨学生の為にという気持ちが一步下がっていたように思うからだ。



米山に携わって3年になるが今年ほど奨学生と会えなかった年はなかった。学生が集まって、楽しそうに活動している姿を見ているだけで段取りや苦労が吹っ飛んでしまう。そんな感動もわずかであったが、委員会を支えて頂いた田島ガバナー・三荒委員長をはじめ委員会の皆さんに感謝している。

田島ガバナーの強い希望で昨年、担当教官との意見交換会を初めて開催した。昼食をほさみながらのフリートークであったが大学のボランティア活動とロータリーの活動の融合が可能である事が分かったのは大きな成果であったと思う。1年間ありがとうございました。

## 米山奨学資金推進委員会

委員長 **矢部 房男** (逗子 RC)

2021-22年度 田島透ガバナーより米山奨学資金推進委員長への推挙を賜り、一年ゆう余箇月が経っております。果たしてご期待に沿える内容であったか自戒を込めて、まだまだ足らざる点があると思っております。お陰様をもちまして、RID2780のガバナーをはじめとする役員のご支援と地区内の各RC会員のご協力によって、当初ガバナーから三荒地区米山委員長に託された、ここ3年間特にコロナウイルスの感染拡大に伴いRID2780内各RCから公益財団米山記念奨学会への寄付総額の減少について、どうやら底が打てた直近のデータもあり、何とか我が胸をなでおろす感と田島副委員長と委員会を支えて下さった各委員に感謝いたします。しかしながら、米山記念奨学金の事業は毎年の継続事業であり、これからもRID2780内各RC会員による尊い寄付により成立する事業であります。「世界の懸け橋」たらんとする有為の若人を育てんとする目的のために、これからも更なるご努力をお願いするとともに ご発展を祈念いたします。



## 米山学友委員会

委員長 **早川 正彦** (相模原中 RC)

コロナ禍にて、中々活動が出来なかった学友会でしたが、今年度は、7月「学友会総会」が紙面決議にて、10月「ポリオ根絶サミット」にて募金活動、新会員さんと合同企画の11月「米山日帰り研修旅行」、みかん狩り、「米山梅吉会館」の訪問、夜には三島のウナギに舌鼓を打って参りました。3月には「地区大会」にて「世界各国のお茶サービス」、お湯を沸かすのが間に合わなくなる位の大好評を頂き、5月「米山学友生同窓会」を鎌倉・光明寺さまにて、出席67名(zoom出席13)にて、よねやま親善大使の李 昱昊さんの卓話、グループに分かれディスカッションそして、発表と楽しい時間を過ごし、精進料理が美味しく、おかわりが出るほどの好評を頂き終了いたしました。残るは「学友会総会」と成りますが、この一年間活動に際しまして、ご協力を賜りました皆様には、感謝の言葉しか御座いません。ありがとうございました。



## シュチェチンRCを通じた ウクライナ難民支援

2021～22年度  
国際奉仕委員会

副委員長 **高木 直之**  
(かながわ湘南RC)



2022年3月6日、地区主催で開催された国際奉仕委員長会議の際、2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻と、それに伴う難民の支援が話題に上り、田島ガバナーより、多くのウクライナ人を受け入れていたポーランドに連絡を取るよう依頼されました。その時思い浮かんだのが、ポーランドの北西部の港湾都市シュチェチンです。2009年10月に同市で開催された学会で出会った方が、ロータリアンだったからです。シュチェチンRCのホームページを見たところ、キーウからの孤児を含む37名のウクライナ難民を支援しているとの記事を発見し、同クラブに連絡を取りました。その当時、37名の難民の、3か月分のサポート費用は、最低の衣食だけで45,000ユーロ、医療費や旅費などに20,000ユーロ、集まったのは22,300ユーロで、42,700ユーロ足りない(日本円で約550万)とのことでした。

3月31日の地区大会にて、田島ガバナーより地区内各クラブに義捐金の依頼がなされ、総額4,071,895円が集まり、4月29日の地区協議会において、田島ガバナーより送金完了の報告がなされました。その後さらに追加の寄付(第7グループより98,340円、第2・第3グループ合同チャリティーコンサートより150,000円)が集まり、6月

29日無事、送金が完了しました。以下、最初の振り込み後シュチェチンRCの代表者からいただいたメッセージです。

「地理的にこれほど離れた日本のロータリーのみなさんが、ウクライナ難民支援にこれほど熱心に取り組んでいただけているのは、実にすばらしいことです。みなさんの寄付は、難民の支援にあたる我々に、新たな力を与えてくれ、人間の善意に希望をもたらしてくれました。最後には善が勝利するものだ。我々の心からの感謝を、国際ロータリー2780地区のガバナーと、義援金をいただいたすべてのクラブの皆さんにお伝えください。」

7月10日には、現地の代表者から寄付の用途について詳細な報告をいただきました。シュチェチンRCは、4月から5月にかけて総計116名の難民(女性と子供)を保護しました。6月にはウクライナに戻ることができる人々は帰国し、現在は残った60名の支援を続けています。当地区からの寄付は、同クラブがサポートしたウクライナの方々の、宿泊費、食費、交通費、子供たちの教育費などに使われました。



シュチェチンRC作成の支援を要請するYouTubeビデオ(日本語字幕つき:例会時に上映)と、同クラブ会員からのメッセージビデオが、2780地区のHPより閲覧できます。「地区委員会活動報告」から、ぜひご覧ください。

# 第1グループ奉仕デー ～ロータリー奉仕活動に 「環境保護」が加わりました～

 2021～22年度  
第1グループ ガバナー補佐

 北村 理和子  
(横須賀RC)


去る6月5日、第一グループの奉仕デーを開催しました。

本年は『ロータリー奉仕活動に「環境保護」が加わりました』と銘打ち、例年は3月に行なっている奉仕活動「1万メートルプロムナードクリーン作戦」の時期をずらして第一部とし、第二部には奉仕活動に参加してくれた高校生に一步踏み込んで環境問題を考えてもらおうと小泉進次郎衆議院議員を講師にお迎えしてSDGs講演会「環境と経済が一つになる時代」を開催しました。

第一部「1万メートルプロムナードクリーン作戦」はここ2年コロナ禍にあり開催を見合わせていましたが、今回3年ぶりの開催にあたり第一グループ各クラブ会員関係者のみならず、横須賀市内の高校生やボーイスカウト等305名が参加しました。横須賀市内4カ所から一



斉にスタートし、第二部講演会会場である横須賀商工会議所までおよそ1時間半を掛けて清掃

活動を行い収集したゴミは、タバコの吸い殻、飲み物の缶やペットボトル、レジ袋やおにぎり、菓子の袋、ビニール傘、破損したカラーコーン等々大小さまざま、またマスクも多く、ご時世を表していました。大人も子供も

熱心にゴミを収集して歩く姿は商店街の店舗からも興味深そうに視線を送られましたが、日常行き来している道路でも電柱や植え込みの陰など注意深く見ると多くのゴミが落ちており、子供たちは自分の興味次第で普段は見えないものが見えるのだと学んだようです。



第二部「SDGs講演会」は一見キレイに見える街中にも多くのゴミが落ちているという現実を目の当たりにした後に「地球温暖化で海面が上昇し砂浜が減少している。この三浦半島からも砂浜が無くなるかも。どう思う?」「日本は世界的に見てプラゴミ排出が多い。かつてはプラゴミを海外へ輸出することで処理していたが、それらの国がもう受け入れてくれなくなった。このままゴミが減らなかったらどうする?」「食糧、エネルギー、衣料等海外依存度が高い日本」「サーキュラーエコノミー(循環型経済)を進める欧米諸国」等ショッキングな話を聞き、高校生にとって環境問題を真剣に考えるキッカケになった様子でした。



この講演の様子はYouTubeで生配信し、当日会場に参加できなかった各クラブの

会員にも視聴してもらうことができました。後日生配信を視聴できて良かったという声も聞くことができ、実対面とオンラインの併用というコロナ禍で培った新しいスタイルを実践できた点でも安堵しました。第一グループは環境保護の取り組みも重要な一角として、今後もグループ一丸で奉仕活動に取り組んで参ります。



## 第2グループ奉仕デーについて

2021～22年度  
第2グループ ガバナー補佐

石田 隆  
(逗子RC)



2021-22年度は、地区方針として例年のInter-city Meetingに代わりロータリー奉仕デーを開催することになり、第2グループは、2つの奉仕デーイベントを計画致しました。

第一弾として4月2日に鎌倉プリンスホテルに於いて、ロータリーファミリーデーを開催。久々に第2グループの会員が一堂に会し、ロータリーファミリーである青少年奉仕(青少年交換・インターアクト・ローターアクト)、米山奨学、財団奨学のプログラムに焦点を当て、ロータリアンに各プログラム活動を理解して頂く場といたしました。

各プログラムのOG/OBより制度の説明と体験談を述べて頂き、ロータリアンに理解を深めて頂くとともに再認識して頂く良い機会となりました。



懇親会では、ライブバンドが演奏する中、ロータリアンと各プログラムの皆さんが語り合いとても楽しいイベントになりました。

そして、第2弾として6月11日に茅ヶ崎市民文化会館に於いて、第2G/第3Gの主催による「Hopeful Harmony」チャリティーコンサートを開催いたしました。

出演頂いたメインゲスト：東京大学アカペラグループ「Limerick」のメンバーの一人である当地区のROTEX 野田 直くん(2013-14台湾派遣)とのご

縁で実現することが出来ました。600名あまりのちびっ子からご高齢の方々にご来場いただき、Limerickの澄んだ歌声が会場に響き渡り15曲の熱唱もあつという間にアンコールの時間となり、素敵なひと時でした。

大変楽しいコンサートになり、来場者の皆さんに喜んで頂けたことが何より嬉しいです。

また当日は、現在悲惨な被害にあっているウクライナの平和を願う募金活動をロータリアンのご家族にもご協力頂いて実施いたしました。そして、コンサートで得た収益金と募金を合わせてポーランドに避難しているウクライナの子供たちのためにご寄付させて頂きました。

このコンサート開催にあたり半年以上前から準備をし、ROTEXに協力して頂いて手作りのチャリティーコンサートを実現出来たわけですが、第2Gだけでは到底不可能であったと思います。コンサート開催に賛同して共に主催をして頂いた第3Gの棕梨AGをはじめとする各クラブの皆さんに感謝申し上げます。とても良い経験をさせて頂きました。

新井次年度青少年交換委員長、ROTEXの皆さんに感謝しかありません。お疲れさまでした。当日の運営は全て当地区のROTEXに委ね、彼らにとっても良い経験になったと思います。そして、今回はロータリアンとROTEXの協業という新しいかたちのイベントモデルになり、今後の活動に活かしていけたらと考えております。

最後にご協力頂いた同期ガバナー補佐の皆さん、第2Gの皆さん、第3Gの皆さん、皆さんのご協力で素敵なチャリティーコンサートを開催し、成功をおさめることが出来ました。

この場をお借りして心から感謝申し上げます。  
ご協力ありがとうございました。

## 第3グループ奉仕デー Hopeful Harmony チャリティーコンサートを終えて

2021~22年度  
第3グループ ガバナー補佐

椋梨 兼彰  
(藤沢RC)



今回、Hopeful Harmony チャリティーコンサートの企画を第2Gの石田AGからご相談頂き、二つ返事で「やりましょう!」と話をしてから約1年。会長幹事会で承認を得てからZoomで打ち合わせを開始して約半年間かけて6月11日の本番を迎える事ができました。

今回の企画はROTEXを中心に行い、我々ロータリアンは裏方に徹する事に致しました。

まずはチラシの作成から始まりましたが、デザインや配置等これが中々思うように進まず何度も繰り返してやっと完成。その後、当日参加できるROTEXの中から得意分野を活かして、受付・アナウンス・司会・紹介動画の作成・チケット販売・大道具等の役割分担をして打ち合わせを行いますが、Zoom会議では思うように進まないのが現状で紹介動画も完成が遅れ、打ち合わせ最後の方は私も少し厳しい口調になってしまいました。新井次年度青少年交換委員長に何とかROTEXをまとめて頂きまして本番当日を迎えました。

当日私は舞台監督ということで開館時間に会場入りしてホールの準備。吉野補佐幹事にはリハーサル前に出演者のメイク等をお願いしておりましたが、Limerickのメンバーがまさかの40分以上の遅刻。リハーサルまで時間が無いところ何とかメイクして頂きました(流石プロ)。紹介動画

も本番当日に完成し、リハーサルでは皆で細かいチェックで直前まで修正して本当にギリギリの状態。昼食も食べる時間が無いほどでした。開場時間になり次々と来場者が客席に入り、紹介動画も上映できましていよいよコンサート本番。始まってからは舞台袖で司会、アナウンス、タイムキーパーの担当者と一緒に大忙し。時間が押しすぎて1曲省くかどうか考えましたが、司会者の協力での時間の短縮もできました。休憩後の再場時にはPC不調で音楽が流れない等少し混乱もありましたが無事に全曲終える事ができて本当にほっと致しました。私は本番中は舞台袖にずっとおりましたので直接客席から聞くことはできませんでしたが、舞台袖からでも歌声に感動させて頂きました。会場には約600名にご来場頂き、第2、第3各クラブ会長幹事、各グループAGの皆様にはチケット販売にご協力頂きましたことを感謝致します。コンサート後、来場者の皆様から「良かった」「素晴らしかった」というお言葉を頂く事ができて本当に嬉しく思います。今回、声をかけて下さいました第2G石田AGにはこの様な機会を与えていただきまして感謝致します。最後に各グループAGの皆様、第2・第3各クラブの皆様、新井次年度青少年交換委員長、吉野AG補佐幹事、各方面における関係者様、そして今回表に立って頑張ってくれたROTEXの皆様のご協力での今回のHopeful Harmonyチャリティーコンサートの開催が無事に成功に終わることができましたことをこの場をお借り致しまして感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。



## 第4グループ奉仕デー

2021～22年度  
第4グループ ガバナー補佐

三澤 京子  
(寒川RC)



2022年5月29日(日)

これまでで、今年一番の暑さの中、第4グループの6つのロータリークラブによるロータリー奉仕デーが開催されました。

### 【第1部】「相模川河川敷クリーンアップ清掃活動」

9時の開会式後、寒川神社少年館やボーイスカウト寒川第2団の子どもたち・保護者の方も一緒に、河川敷から寒川神社参道まで移動しながら清掃活動を行いました。

### 【第2部】「合同例会、基調講演、懇親会」 於:寒川神社参集殿

約70名の出席者により田島ガバナー、佐藤ガバナーエレクトをお迎えして合同例会が開催されました。基調講演では桂川・相模川流域協議会の中門吉松様より「SDGs持続可能な世界へ相模川の果たす役割」をテーマにお話をいただきました。これからの未来を担う子供たちのために、環境保護・環境保全について常に意識して生活することが大切だと実感しました。懇親会では和気あいあいとした雰囲気の中、3年ぶりに第4グループの皆さまと楽しいひと時を過ごすことができました。初めての試み「ロータリー奉仕デー」の責務を何とか果たし、次年度IMホストクラブ:茅ヶ崎中央RCの皆さまへバトンを引き継ぎ、閉会となりました。

ご出席いただいた皆様、お疲れさまでした。ありがとうございました。



## 第5グループ奉仕デー 「ホタル舞う相模原」について

2021～22年度  
第5Bグループ ガバナー補佐

**畷住 悦子**  
(相模原中RC)



2022年5月21日(土)に第5グループ奉仕デー「ホタル舞う相模原」と題して、ホタルが自然に生育する環境について講演会、及び地域のホタル保存団体の皆様とのパネルディスカッションを、相模原市環境経済局様との共催事業として実施しました。

当初は子供たち対象にホタルの幼虫を放流する事業を想定していましたが、生物多様性保全の観点から、市の条例で他の地域からのホタルの放流が禁じられていることがわかりました。その後市の環境経済局との話し合いや、ホタル保存団体のニーズ調査、今回講演会の講師をしていただいた民間のホタル研究の第一人者である古河義仁先生との交流の中で、例え近接したエリアであっても水質や流れ方、土壌、餌となるカワニナの固有性など様々な条件で遺伝子が違っているということを知り、たいへん勉強になりました。

当日は午前中に三ヶ木ホタル保存会様が管理するホタル生息地を古河先生が視察され、現地を見ながら皆さんの真剣な質問に答えられていました。午後からは苗村ガバナー補佐の代読による田島ガバナーのメッセージ、本村賢太郎相模原市長からの挨拶、津久井中央RCの会員であり三ヶ木ホタル保存会の理事でもある山口県会議員から保存会支援の経緯の話に続き、古河先生によるホタルの生態、減少・絶滅の原因、里山の保全などについて講演が行われました。古河先生が撮影したホタルが飛び交う動画もたいへん美しかったです。

パネルディスカッションでは津久井地区のホタル保存団体の皆様と古河先生によるパネルディスカッションを行いました。2019年の大雨被害によりどのホタル生息エリアも大きな打撃を受けており、そこから地道にホタルの生息数を回復しているのですが、そのために試行錯誤している方策が適当

であるかわからない、また会員の高齢化が共通する悩みのようなものでした。

奉仕デーの準備から実施に至るまで、奉仕デー実行委員会の皆様の積極的な議論とご協力ありがとうございました。幹事である相模原東RCも18名という会員数にもかかわらず、当日は多くの会員が参加され準備や設営を一手に引き受けていただきました。各クラブからの応援スタッフの皆様もお疲れ様でした。



奉仕デー実行委員長から古河先生へ花束贈呈

相模原市環境経済局水みどり課の皆様には計画段階から全面的に支援していただいています。ホタル保存団体の皆様ともお話ができてたいへん勉強になりました。古河先生はたいへん気さくな方で、ホタルについての啓蒙にかける熱意には感銘しました。また田島ガバナーにはこのような事業を実施する機会をいただき、感謝しております。

6月11日には三ヶ木ホタル保存会の管理するホタル生息地で小学生を招いたホタル観賞会が行われ、昨年より多い約250匹ほどのホタルが確認され小学生の歓声が上がっていました。私もその翌週家族と視に行きましたが、国内で自然のホタルを見るのは初めてで感激すると同時に、保存会の皆様の努力には頭が下がります。

## 「ロータリー奉仕デー」を終えて

2021～22年度  
第7グループ ロータリー奉仕デー実行委員会

委員長 古谷 スミ子  
(秦野名水RC)



例年実施されてきた「IM」に代えて、本年は「ロータリー奉仕デー」と銘打って開催しました。田島ガバナーからロータリアンだけではなく、広くその活動を一般の市民の方々にも知っていただく行動を!との要請により、第7グループでは、大屋ガバナー補佐を中心に「奉仕デー実行委員会」が2021年10月に構成されました。

各クラブから2名、出来る限り女性会員をメンバーに加えて欲しいという要望が出されたこともあり、男性5名、女性7名とガバナー補佐、幹事、担当クラブ会長と総勢15名での出発でした。

ガバナー補佐が女性会員の参加を要請した理由は、ご承知のように、昨今女性会員の増加とその

活躍が顕著になっているからだそうです。そして、「奉仕デー」の内容について実行委員会は、「女性の活躍を語っていただける方」の講演会と決定しました。さて、人選はどうするのか、候補者は、芸能人からスポーツ選手まで多くの候補があがりました。ふと、ある方を思い浮かべました。団塊世代、子どもを育て且つ経済人として一流企業の代表等を務めてこられた、前横浜市長「林文子氏」です。早速お話をして快諾をいただき、正式に講師要請をしてからは怒涛のごとく駒は進み始めました。打合せ等の横浜通いと同時に様々な準備がスタートです。

最難関は「コロナウイルス」。当初3月6日に設定したものの蔓延防止期間が延長され5月8日に急遽変更と厳しい局面もありましたが、林氏のご協力もあり当日を無事に迎えることが出来ました。

「ロータリーは女性の活動を応援しています。パイオニアの話を聞いてみませんか」と呼びかけました。演題は、「チャレンジこそが成長の糧～仕事を通じて豊かな人生を～」です。

経営者として様々な企業で人と接し、その能力を引き出してこられたのは、セールスレディーとして自動車販売に携わった経験から体得されたものとか。一例を挙げれば、車のセールスの時は、当のご主人よりも奥様の希望を聞き出すようにするなど、ちょっとした気配りが人間関係を円滑にし、仕事を発展させることになると講演で披露してくださいました。

しかし、企業人としても公人としても幾多の修羅場を潜り抜けてこられたであろう方です。穏やかな笑顔の中に秘められた信念は、団塊世代の代表者の一人として確固たるものを感じさせられました。参加したロータリアンや市民の皆様も、とても小柄な女性の放つ途轍もない迫力に引き付けられ、感動の一日を過ごされたのではないのでしょうか。

Rotary

ロータリーは女性の活動を応援しています。  
パイオニアの話を聞いてみませんか。

「チャレンジこそが成長の糧」  
～仕事を通じて豊かな人生を～

国際ロータリー第2780地区第7グループ  
ロータリー奉仕デー  
前横浜市長  
**林文子氏講演**

2022年(令和4)  
**5月8日(日)**

◆会場：クアーズテック秦野カルチャーホール(秦野市文化会館)  
◆時間：13:00～16:00(受付開始 12:30～)

「まん延防止等重点措置」期間延長に伴い、3月6日は変更になりました。  
一般公開・参加無料  
★マスク着用をお願いします

お問合せ先：秦野商工会議所 秦野名水RC  
事務局 菊池  
TEL 0463-81-1355

主催/国際ロータリー第2780地区第7グループ 後援/秦野市・伊勢原市・秦野商工会議所・伊勢原市商工会

## 革新性と柔軟性を目指した クラブの誕生へ



国際ロータリー第2780地区  
2021～22年度ガバナー

田島 透

RIは2019年柔軟性と革新性を兼ね備えた活気あるクラブについて言及しています。会員増によりロータリーのネットワークをさらに広げ、より良い地域社会づくりの促進が期待されるからです。私にとって新クラブ結成は究極の目標ですが、コロナ禍において会員維持すら困難で、新クラブ誕生はなお難しい状態でした。

朗報は新クラブ結成を諦めていた4月に突然飛び込んできました。

湯河原RCメンバーの神谷会員より「奉仕活動をした仲間が30名以上います。新クラブを作りたいのですが、どうすればいいでしょうか?」と驚きの相談でした。このコロナ禍という最悪の環境下で新規「20名」を集めることすら容易なことではありません。ガバナーとして、地域社会に奉仕しようと思う人がいて、またクラブとしてうまく維持していけると考えられるなら早く新クラブを結成すべきであると考えました。私たちに求められるのは、既成概念を抜け出し、新しい革新的なクラブ誕生によりロータリーの成長をめざし、新しいアプローチを試みることです。

それにより、私たちは革新性、柔軟性、そして地域社会の変化を通じて活路を切り開いていけると確信しているからです。早々に結成準備に取り掛かりました。

結成にあたり、神谷会員との話し合いで「親クラブなし、私が新クラブアドバイザー」で発足することになりました。新クラブ設立の準備に向かって手続きに入ったのは国際大会出発の直前でした。会員構成を見ると多様性に富み、革新的な考えで集まった候補者で構成されていることがわかりました。まさにRIが言う多様性を推進するような均衡のとれた会員構成であると感じました。

居住地・就業先が県内・東京・外国に広く分布し、従来の新クラブ結成の規定では認められない地域構成となっていますが、新しい規定では柔軟性・刷新性の下で可能となりました。現役の職業人や芸術系の人、企業をリタイアされた方々などで奉仕に興味を持つメンバーの集まりでした。当初は奉仕に特化したパスポートクラブの結成を視野に検討しましたが、従来のクラブとして誕生としました。

### 新クラブの特徴として柔軟さを取り入れる

RIにより義務や経済的な負担が多すぎることがロータリークラブ退会の主な理由であることが、示されています。

クラブが柔軟に対応することで、これを軽減(会費・例会回数・例会場・所属グループ)することを検討しました。

### 例会の参加方法

新型コロナ禍であること、会員の居住地を考慮してバーチャル形式かハイブリッド形式(主にオンライン例会)を取り入れることにしています。オンラインでの例会により特定の地域に限られない広大な地理的範囲、まさに世界中から会員が例会に参加できるという利点があります。

### 革新的クラブ

積極的に「汗をかく奉仕活動(自ら体を使って行動する奉仕活動)を中心としたクラブ」への転換です。奉仕に心を寄せ、メンバーが汗することで、より一体感のある活動を計画。

新クラブはほとんどがロータリーの初心者です。ロータリーの活動方法を知らない人もいるので、新クラブを大切に育てていく必要があります。会員が熱意をもつ分野に焦点を当て、柔軟さを取り入れて今後も多様な会員を迎え入れることが大切と考えています。そして何よりも、会員が楽しんでもらえることです。「友情」「繋がり」「楽しさ」そして「奉仕」に参加でき、奉仕活動を続けてもらえなければいずれ退会してしまうでしょう。ロータリーは地域社会のニーズに応えるために進化する必要があります。

新クラブ誕生によって、ロータリーの可能性が広がります。より開放的で魅力的なロータリーを築くという目標のもと、新会員の関心とニーズに応じていくことが必要です。それにより、新クラブはただ存在すればいいのではなく、大きく成長して羽ばたけるように温かく見守る必要があります。

皆さんの温かいご指導をお願いします。

## 「かながわDEIロータリークラブ」 設立に際して



初年度会長 神谷 一博

「かながわDEIロータリークラブ」の加盟認証状伝達式は地区の皆様方の格別なるご支援により6月27日(月)に無事終了することができました。月末に近い月曜日にも拘わりませず、鎌倉パークホテルまでお越しいただきました事、大変恐縮いたしております。新クラブの伝達式にご参加いただき、誠にありがとうございました。

今年度(2021~22年)の田島透ガバナーから1年ほど前より「衛星クラブ」か「普通クラブ」を立ち上げる事ができないでしょうかとの話はお聞きしてはいましたが、当初は別の世界の出来事のように思っておりました。本年度(2022年)2月に入りまして日ごろ私がお付き合いさせていただいております方に新クラブの設立の件を、お声掛けさせていただきましたところ、思いがけず5人の方々が快く賛同してくださいました。2月18日に5人で第1回設立準備会合を開かせていただきました。新クラブの初年度幹事役の小倉高代氏も当初から加わっていただきました。小倉会員が得意とするところのネットでの【SNS】を活用して奉仕活動に積極的な方に連絡を取りまして、ロータリー活動の内容を説明させていただき会員を増やしていきました。幸いにも4月に入りまして新クラブ設立の最低会員数の20名を超えるめどが立ちまして、途中経過を田島透ガバナーに報告させていただきました。伝達式までの4か月は緊張の連続でした。

加盟認証状伝達式時点の会員数は男性会員13名、女性会員9名、会員合計22名となり無事に新クラブとしてスタートすることができました。これもひとえに皆様方の厚いご支援の賜物と思っております。

今年度(2021~22年)の田島透ガバナーが打ち出された地区ビジョンは『私たちは、地域社会の変化とニーズをとらえ、地域社会にインパクトをもたらす、多様な人々との出会いとつながりを活かして、良い奉仕を实践するために積極的に行動します。』というものです。

多様な人々との出会いとつながりがロータリーの仲間を増やし他者のために尽くす人が増え、みんなの人生を豊かにするために奉仕する人が増えていきます。もちろん多様な人々との繋がりや、個人個人の豊かな生活を得ることができていくのではないのでしょうか。奉仕活動が、

増々好循環になっていくものと思われれます。

「かながわDEIロータリークラブ」は、人と人との出会いと奉仕の実行を具体的に視野に入れまして、諸先輩のご指導の下、今後のロータリー活動を行って行く所存であります。

クラブ名についての事ですが、シンプルではありますが、実は中身が濃いネーミングであります。

「かながわDEIロータリークラブ」の「DEI」の意味はDEI=「DE で I 会い」=「人と人との出会い!を大切に作るクラブ」ですが、下記の意味合いもあります。

**D = Diversity = 多様性**

**E = Equity = 公平性**

**I = Inclusion = 包括性・お互いを認め尊重する**

多様性、公平性、包括性、この3パターンを促進する取り組みが持続可能であり、また成長可能なクラブ運営に重要な要素になっていくものと思われれます。もちろん設立当初は、大半の会員がロータリー活動について初心者であります。新会員の目線に立って多様な経験を持つ会員一人一人に柔軟性をもって奉仕活動の「楽しさ」「親睦」「友情」「遣り甲斐」等を共有していこうと考えます。

今後の私共「かながわDEIロータリークラブ」の活動をどうか温かい目で見守っていただけたら幸いです。

「手に手をつないで」新クラブの会員皆で、頑張っって前進してまいる所存です。

どうかよろしくお願いたします。

**KANAGAWA**  
**DEI**  
Diversity Equity Inclusion  
since 2022  
**Rotary Club**

ロゴマーク▶

# GROW MORE MEMBERSHIP!



## 新会員's VOICE ～一人ひとりの会員の声を聞こう～

国際ロータリー第2780地区 2021-22年度 地区会員増強維持拡大委員会

声を聞く。心通わせる。たとえそれがオンラインであっても、自らの声に耳を傾けてくれる人がいるということ。相手の考えを尊重して知るということ。この価値に委員会としても気づかされた1年でした。新会員さんたちの、今後やってみたいこと、クラブへの期待、自分のこれからの成長や出会いへの期待。素晴らしいポテンシャルの新会員さんばかり！新会員さんへのフォローの有無は、クラブの活性化や、その後の増強や維持にも大きな影響を与えます。メンター制度、新会員研修や新会員親睦。クラブやグループ、そして地区も一緒になって、新会員さんのフォローが出来るといいですね。



## 新会員's VOICE ≡

第1回

新 会 員：都築 祐介 (茅ヶ崎湘南RC)

新 会 員：信澤 直輝 (茅ヶ崎湘南RC)

第4 group

インタビューー：湯山 文夫 (地区会員増強維持拡大委員・茅ヶ崎中央RC)

<https://youtu.be/004whOpBwBg>



第2回

新 会 員：西久保涼子 (逗子RC)

後 見 人：服部城太郎 (逗子RC会長)

総括インタビューー：岩澤あゆみ (地区会員増強維持拡大委員長・茅ヶ崎RC)

インタビューー：関根 貢 (地区会員増強維持拡大副委員長・葉山RC)

インタビューー：高橋 正宏 (地区会員増強維持拡大委員・藤沢東RC)

第2 group

<https://youtu.be/ZfP6AKr8wal>



第3回

新 会 員：鷹濱 美春 (相模原かめりあRC)

新 会 員：遠藤 亜美 (相模原かめりあRC)

インタビューー：峯尾 勝彦 (地区会員増強維持拡大副委員長・綾瀬春日RC)

インタビューー：小原 華子 (地区会員増強維持拡大委員・本厚木RC)

第5B group

<https://youtu.be/2vT5nruf8hE>





第4回

第6  
group

新 会 員：柏木 貞俊（伊勢原RC）  
 新 会 員：小泉 幸彦（伊勢原RC）  
 新 会 員：市川 千里（伊勢原平成RC）  
 インタビュアー：堂前 慶之（地区会員増強維持拡大副委員長・伊勢原RC）  
 インタビュアー：椎野 祐介（地区会員増強維持拡大委員・秦野中RC）  
<https://youtu.be/ub66FBIfhf8>



第5回

第3  
group

新 会 員：加藤 一（イノベーションゲートウェイ湘南RC）  
 新 会 員：久野 孝稔（イノベーションゲートウェイ湘南RC）  
 インタビュアー：関根 貢（地区会員増強維持拡大副委員長・葉山RC）  
 インタビュアー：高橋 正宏（地区会員増強維持拡大委員・藤沢東RC）  
[https://youtu.be/G1Kjb\\_GMEwM](https://youtu.be/G1Kjb_GMEwM)



第6回

第9  
group

新 会 員：青山 恵美（小田原RC）  
 新 会 員：湯山 昌樹（小田原北RC）  
 新 会 員：山神 裕（足柄RC）  
 インタビュアー：木村 隆也（第9グループガバナー補佐・小田原RC）  
 インタビュアー：岩澤あゆみ（地区会員増強維持拡大委員長・茅ヶ崎RC）  
 インタビュアー：堂前 慶之（地区会員増強維持拡大副委員長・伊勢原RC）  
<https://youtu.be/47N8qowpko0>



第7回

第5A  
group

新 会 員：佐藤 典克（相模原RC）  
 新 会 員：柴田 卓（相模原ニューシティRC）  
 新 会 員：本田 泰章（津久井中央RC）  
 インタビュアー：岩澤あゆみ（地区会員増強維持拡大委員長・茅ヶ崎RC）  
 インタビュアー：峯尾 勝彦（地区会員増強維持拡大副委員長・綾瀬春日RC）  
 インタビュアー：関根 正司（地区会員増強維持拡大委員・相模原グリーンRC）  
<https://youtu.be/O3DXHG-Zgl4>



第8回

第8  
group

新 会 員：守屋 宣成（平塚RC）  
 新 会 員：内山 徹（平塚湘南RC）  
 インタビュアー：岩澤あゆみ（地区会員増強維持拡大委員長・茅ヶ崎RC）  
 インタビュアー：黒柳 寿郎（地区会員増強維持拡大委員・平塚湘南RC）  
 インタビュアー：高橋 建二（地区会員増強維持拡大委員・平塚RC）  
<https://youtu.be/ymw5W5pQ5bE>



第9回

第1  
group

新 会 員：田中由紀子（横須賀RC）  
 新 会 員：岡田 圭太（横須賀RC）  
 新 会 員：二塚 雅則（三浦RC）  
 インタビュアー：岩澤あゆみ（地区会員増強維持拡大委員長・茅ヶ崎RC）  
 インタビュアー：関根 貢（地区会員増強維持拡大副委員長・葉山RC）  
 インタビュアー：井上 晋一（地区会員増強維持拡大委員・寒川RC）  
<https://youtu.be/tbZF5y8kNNQ>



第10回

第6  
group

新 会 員：井上 祐城（座間RC）  
 新 会 員：小西 嘉昭（厚木県央RC）  
 新 会 員：林 志保（本厚木RC）  
 インタビュアー：岩澤あゆみ（地区会員増強維持拡大委員長・茅ヶ崎RC）  
 インタビュアー：鈴木 義隆（地区会員増強維持拡大副委員長・座間RC）  
<https://youtu.be/PAODFYgfsaU>



## ロータリー世界大会2022に参加して

国際ロータリー第2780地区  
2021~22年度横須賀RC会長エレクト

前田 長生



COVID19の流行により開催不能であったロータリー世界大会が3年ぶりにアメリカテキサス州ヒューストンで開催され、小沢一彦(元RI理事)を筆頭に小佐野圭三PG、相澤光春PG、田中賢三PG、田島透ガバナー、田島敏久ガバナーノミニーの方々と共に総勢15名で参加してきました。

まずは大会前にラスベガスからバスでグランドキャニオンに向かい、島国日本では到底お目にかかれない壮大な景観を楽しみました。

赤茶けた岩肌が遙か遠くまで切り立ち、その遙か底にはコロラド川の濁流が細く長く続いていました。崖っぷちへ弧状にせり出した約1200mの高さのスカイウォークを歩きましたが、床が透明なガラス張りで一瞬覗いてからは脚がすくんでしまい、そそくさと速足で渡り切りました(笑)これは本当に想像以上の怖さでしたよ!

近くのお土産物売る建物の中で先住民であるインディアンの生活とその歴史が紹介されていましたが、顔つきがどことなく関西系の日本人(笑)に似ていて、やはり古代にベーリング海峡は繋がっていたのかと感じました。

翌日は空路で大会開催地のヒューストンに入りました。

大会は例年では2万数千人の参加者があるようですが、今回はまだコロナ禍の影響か1万2千人と約半数程度とのことでした。

それでも開会式は大賑わいでシェカール・メータRI会長の挨拶の後に恒例の各国国旗の紹介がありました。ウクライナの国旗紹介では場内が総立ちで歓声を上げながら延々と拍手が鳴り響き、私も少々胸が熱くなりました。この後には華やかな衣装を着けたインドからの若者たちがステージに大勢登場して、元気いっぱいダンスを披露し会場も大いに盛り上がりました。友愛の家は例年の多くの展示と様々な奉仕活動の紹介があり、熱心な情報交換の場として満員の盛況でした。日本人朝食会では朝早くからRI会長とジェニファー・ジョーンズ会長エレクトも出席され、雑誌「ロータリーの友」で普段お見掛けする二人の生のスピーチを近くで聴くことができました。(何故かロータリアンであることを実感!)また洒落たバンド演奏で始まった財団セミナーではアーチ・クランフ会員を始めとする多くのドナー会員の出席があり、基調講演のちに熱心な財団寄付の紹介がありました。今大会も数多くの分科会がありましたが、事前に詳しく調査をしてからの参加がより楽しく有意義であると思います。



メキシコ風の郷土料理店にて

大会期間中には財団の学友でNY在住の原千草さんも合流して、風変わりな瞑想教会?(私には意味不明)や美術館などヒューストンの市内観光と夕食会でのカリフォルニアワインを共に楽しみました。

## 世界大会報告 / Best Rotary Day of Service 受賞

大会主催のNASA宇宙センター見学にも参加し、アポロ計画の巨大な推進ロケットの大きさと対照的にスペースシャトルが蟬のように妙に可愛らしく映りました。(無重力実験が地上でも可能となった現在は、宇宙に飛び出す必要が無くなってきたようです)

ここでは各自がNASAグッズのお土産店に直行していました! (笑)

大会開催地のヒューストンは近年NYやLAからの産業の流入が続いてアメリカ南部の経済の中心になっているようで、生活の豊かな街という印象を受けました。郊外の有名でいいお値段のステーキ店では平日にもかかわらず多くの人々がランチを楽しんでいて、私達もやや年配の可愛い女性店員のお勧めで1ポンド(約450g)のカウボーイステーキに挑戦しましたが、残念ながら半分ほど残してしまいました。(笑) また夜にはヒューストンアストロズとシアトルマリナーズのナイター野球をビール片手に観戦し、大谷選手の二刀流試合をもの凄く観たくなりました。

楽しい思い出をたくさん残して今回の旅行は終わりました。そして他クラブの方々と多くの親交を深める事が出来ました。

ご同行いただいた皆様にあたたためて感謝を申し上げます。

来年の世界大会は5月27日から31日まで風光明媚でグルメとアートの街といわれるオーストラリアのメルボルンで開催されます。

COVID19の検疫がさらに落ち着き、皆様とともにまた楽しく参加できることを期待して報告を終わります。



## Best Rotary Days of Service 受賞



2021-22年度の会長イニシアチブの一環として、シェカール・メータ国際ロータリー会長は、実践的かつ行動的なロータリー奉仕デーの開催をクラブに呼びかけられました。この活動は、ロータリー重点分野の一つ以上に該当し、ロータリー内外からボランティアを集め、地域社会の課題に取り組むものとする事が奨励されています。

今年度は従来のIMのフォーラムに代えて、このロータリー奉仕デーを実施することにしました。コロナ禍で開催日や内容の変更を余儀なくされながらも実施してもらうことが出来ました。ガバナー補佐の皆さんをはじめとしてグループの皆様の行動力のおかげと思っています。すべての活動はグループごとに大変ユニークで、地域に密着した活動となりました。

シェカール・メータ会長より当地区は「Best Rotary Days of Service」を受賞しました。会員の皆様の素晴らしい成果と大変喜ばしく思います。

2月 5日	第8グループ ロータリー奉仕デー	奉仕の原点に戻ろう・多様な人々との出会いと繋がり
3月 10日	第3グループ ロータリー奉仕デー	カンボジア靴プロジェクト
4月 13日	第9グループ ロータリー奉仕デー	小田原城クリーンアップキャンペーン
4月 20日	第6グループ ロータリー奉仕デー	コロナ禍でのロータリー奨学金
5月 8日	第7グループ ロータリー奉仕デー	女性活動プロジェクト・林文子氏講演会
5月 21日	第5A/Bグループ ロータリー奉仕デー	ほたるの舞う相模原プロジェクト
5月 29日	第4グループ ロータリー奉仕デー	相模川クリーンアップキャンペーン
6月 5日	第1グループ ロータリー奉仕デー	10000m清掃活動・小泉進次郎議員後援会など
6月 11日	第2・3グループ ロータリー奉仕デー	チャリティーコンサート・茅ヶ崎市民文化会館

## 出席率100%例会達成の意義

国際ロータリー第2780地区  
2021～22年度小田原ロータリークラブ

会長 **大田和 俊彦**



2022年6月6日の例会にて、当クラブにおいて出席率100%を達成することができましたことをご報告させていただきます。

約1カ月程前の例会だったでしょうか、出席委員長の山口由佳委員長が、「6月6日の例会で出席率100%を目指します!」と突然宣言したのが発端でした。それから、出欠予定確認からお声掛け、また当日までのメイクアップやオンライン参加のお願いが進められ、当日に実現しました。しかし普段から、お声掛けや、メイクアップお願いなどは、年度当初から出席委員長中心に進めてきており、それにより、各例会の良さや、多くの会員出席がクラブの一体感や活性化に寄与することなどを伝えてきた結果であったと思います。

例会出席は自分にメリットをもたらしますが、交流の機会が増えることで他の会員へも良い影響を与えるはずです。ですから、多くの会員が集うことはそれだけで大切なことです。通常の昼の例会でも90%前後、コロナ禍においてオンライン開催だった時も約85%の出席率であった当クラブに記念日できたことは、全会員の誇りになったと確信しております。

当日は柴崎次年度ガバナー補佐(第9グループ)が来訪されていて、一緒に祝って頂き次年度スタートへの弾みになりました。また、次々年度に当クラブは創立70周年を迎えますが、その弾みにもなった例会でした。

なお、「100%出席例会達成!」の小看板は私が見込みで発注したのですが、声掛け中にそれを知った山口委員長は、かなりのプレッシャーを感じていたようです。しかし、小看板も当日披露でき、本当に良かったです。

### 【山口委員長談】

ロータリー歴3年目の私が、年度初めに出席委員長を仰せつかり、こなせるか不安でした。もう年度も終わりに近づき、この100%例会の当日、お仕事がお忙しい方、ちょっと体調がいまいちの方もたくさんの方に、「今日、来たよ～」って声をかけていただきとても嬉しかったです。最後にクラブの皆様のおかげで出席委員長にさせていただけたような気がします。出席するというを本当に楽しんだ例会でした。



## Dawn of Nobility —How was Rotary established?—

### ロータリーの創生 Vol.12

文・絵 寺田 圭次 (ふじさわ湘南 RC)

監 修 田島 透 (ふじさわ湘南 RC)

#### <世界恐慌とロータリーの危機>

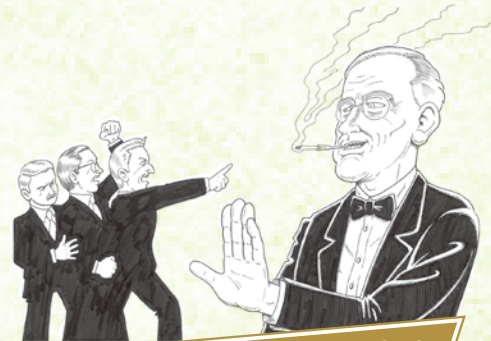
1929年ウォール街の株価暴落から始まった世界恐慌は、経営者の団体であるロータリーにも深刻な打撃を及ぼした。ロータリーの支持を得ていた共和党所属でブルックロータリークラブ会員であったフーバー大統領が敗れ、ライオンズが支持していた民主党のフランクリン・ルーズベルトが大統領に就任した。

ルーズベルトは直様米国経済の危機打開のため様々な政策を行った。所謂ニューディール政策で、労働団結権や団体交渉権の保護を制定した労働組合法であるワグナー法等は、ロータリーをはじめとする実業界に影響を与え、強い反発を招いた。

1930年、アーサー・フレデリック・シェルドンがロータリーを退会する。

1929年ダラス国際大会で彼が唱えたモットー“*He profits most who service best*”を廃止する決議29-7が提案され、多くのクラブが賛同したことや、決議23-34で奉仕活動が制限されたはずなのに、「身体障害児救済事業」が決議され、これにポール・ハリスが支持を示したことが理由と言われているが、真偽は分かっていない。

更に1932年、ポール・ハリスの実弟レギナルトがライオンズに移籍するという出来事が起きた。ルーズベルト民主党政権が誕生し、ライオンズの勢いが増したのが理由と言われ、レギナルトは多くのロータリー会員をライオンズに引き抜いた。これらの影響により、ロータリー会員数は激減し、出席率も低下していった。



Franklin D. Roosevelt versus Rotary

#### <危機を救ったロータリー奉仕理念>

1932年、シカゴロータリークラブ会員であったジュエル・ティー社勤務のハーバート・テイラー (Herbert J. Taylor) は、負債総額40万ドル超で倒産寸前の調理器具メーカー、クラブ・アルミニウム社の経営再建の依頼を受けた。テイラーはジュエル・ティー社を退社し給与を8割カット、そして自己資金を投資してこの難事業を引き受けた。

彼はまず会社の信用を高めるためには、従事する社員250人の道徳的指標が必要と考えた。全社員が正しい行動を取って販売に勤めれば、信用が高まり、必ず会社の業績は向上するという強い信念があった。

当初は100語からなる文章にしたが、覚えやすく7つにまとめ、もっとシンプルに4つにまとめ上げた。当社の4部門の部長それぞれの宗教上の教義にも照らし合わせ、意見の一致を得たのが「四つのテスト」である。

**Test,1 真実かどうか**      **Test,2 みんなに公平か**

**Test,3 好意と友情を深めるか**

**Test,4 みんなのためになるかどうか**



Herbert J. Taylor

簡潔で意味深いこの「四つのテスト」はクラブ・アルミニウム社の経営指針となった

きれいな事でも実社会には向かないと顧問弁護士等から意見もあったが、誇大広告の是正、当時当たり前に行われていた競合他社の欠点を指摘する広告の取りやめ、顧客への誠実なサービス、仕入業者への公平な扱い等倫理訓に沿った会社経営でクラブ・アルミニウム社の業績は好転した。1937年までに負債は完済され、その後株主に100万ドル以上の配当が支払われ、同社純資産は200万ドルに達した。世界恐慌や大戦下でのクラブ・アルミニウム社再建は「四つのテスト」の道徳的要素が会社経営に有意義であることを世に知らしめた。

1942年、国際ロータリーは「四つのテスト」を職業奉仕の構成要素に取り入れた。ロータリー創立50周年の1954-55年度RI会長に就任したテイラーは「四つのテスト」の著作権をRIに寄付し、今日に至るまで四大奉仕部門全てにおける不可欠の要素とされている。世界恐慌、ニューディール政策、世界大戦等、幾多の危機を多くのロータリー会員がその影響を最小限に抑え乗り越えることが出来たのは、ロータリーで習得した奉仕理念の力が大きかったと思われる。

1935年にシェルドンが、1947年にはポール・ハリスがこの世を去った。

創生当初のメンバー達が考え、迷いながら築いたロータリーの親睦・奉仕の精神は、現在に引き継がれ、これからの未来も進化・発展していくことだろう。

ロータリーの創生(完)



米山功労者一覧(2021年7月1日-2022年6月30日)

第1グループ

Table listing members of Group 1, including categories like 米山功労者, マルチプル, and メジャードナー with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like メジャードナー and 米山功労者 with names and counts.

第2グループ

Table listing members of Group 2, including categories like 米山功労者, マルチプル, and メジャードナー with names and counts.

第3グループ

Table listing members of Group 3, including categories like 米山功労者, マルチプル, and メジャードナー with names and counts.

第4グループ

Table listing members of Group 4, including categories like 米山功労者 and マルチプル with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like マルチプル and メジャードナー with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like メジャードナー and マルチプル with names and counts.

第5Aグループ

Table listing members of Group 5A, including categories like 米山功労者 and マルチプル with names and counts.

Table listing members of Group 5A, including categories like マルチプル and 米山功労者 with names and counts.

Table listing members of Group 5A, including categories like メジャードナー and マルチプル with names and counts.

第5Bグループ

Table listing members of Group 5B, including categories like 米山功労者 and マルチプル with names and counts.

Table listing members of Group 5B, including categories like マルチプル and 米山功労者 with names and counts.

第6グループ

Table listing members of Group 6, including categories like 米山功労者 and マルチプル with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like 海老名名譽 and 厚木県央 with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like マルチプル and 厚木 with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like 大和 and 大和中 with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like 大和田園 and 海老名 with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like 海老名 and 海老名名譽 with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like 海老名名譽 and 本厚木 with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like 厚木県央 and 本厚木 with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like メジャードナー and 大和 with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like 米山功労者 and 伊勢原 with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like 秦野名水 and 秦野 with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like 伊勢原 and 秦野中 with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like 秦野名水 and メジャードナー with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like マルチプル and メジャードナー with names and counts.

Table listing members of Group 1, including categories like メジャードナー and 平塚西 with names and counts.

第9グループ

Table listing members of Group 9, including categories like 米山功労者 and 箱根 with names and counts.

Table listing members of Group 9, including categories like 足柄 and マルチプル with names and counts.

Table listing members of Group 9, including categories like 湯河原 and 箱根 with names and counts.

Table listing members of Group 9, including categories like 小田原中 and メジャードナー with names and counts.

Table listing members of Group 9, including categories like 小田原北 and 功労クラブ with names and counts.

R財団寄付者一覧(2021年7月1日-2022年6月30日)

アーチ・クラフ・ソサエティ		鎌倉大船		平塚北		綾瀬		厚木県央		鈴木 仙一 M4	
横須賀	小沢 一彦		鈴木 弘毅	平塚北	米山 俊二	内野 晴雄 M5			鈴木 仙一 M4		
相模原西	田島 敏久		徳永 淳二	二宮	相原 美紀	栞田 智太 M1			佐藤 拓也 M1		
	田島富美子		西村 延容	平塚湘南	南里 和宏 M1	南里 和宏 M1			松本 豊 M2		
			大坂 久司	小田原	青柳 直幸 M5	青柳 直幸 M5			葛籠 眞京子 M2		
			上條 義文		藤原 尋	中島 保司 M5			村松 マユミ M3		
			齋藤 徹		神戸 秀典	赤間 芳陽 M1			秦野 宮野 龍介 M5		
			跡部 明男		中尾 昇	武田 正己 M1			宮井 隆一 M2		
			星谷けい子		竹尾 幸俊	脇 吉昭 M2			増田 重一郎 M3		
			大貫 美則		櫻井 武志	山田 英夫 M5			佐藤 敏夫 M3		
			鈴木 隆一		鶴巻 美樹	湯山 文夫 M2			川口 洋 M4		
			駒井 洋之		赤沼 洋	峯山 文明 M3			柳川 賢治 M4		
			村澤 良		浅沼 賢史	池亀 武士 M5			小野良太郎 M5		
			上堀美智子		古谷賢一郎	前川 義憲 M5			武 功 M6		
			高橋 正宏		加藤 正晃	佐々木保博 M5			坂本 秀美 M2		
			阿部 修之		大野 英明	笠間 昇 M1			柳川 正男 M2		
			伊澤 孝次		宮古 和彦	笠間正二郎 M2			諸星 利男 M1		
			阿部 料子			澁谷 敏夫 M4			山谷 洋子 M1		
			横田 晃一			菅野 宏一 M2			東島 礼夫 M2		
			石田 貴一			苗村 泰徳 M1			鈴木 和夫 M2		
			伊藤 和明			川井 俊幸 M3			小谷スミ子 M4		
			徳外 幸丈			比嘉 成夫 M8			大屋 富茂 M5		
			小澤 千明			松岡 忠義 M8			青山紀美代 M1		
			山本 和好			水谷里枝子 M1			飯塚 和夫 M1		
			櫻井 真貴			高橋 三叔 M1			小野 学 M1		
			海上 勇樹			矢越 孝裕 M1			升水 一義 M3		
			一杉 直樹			長谷川太一 M2			大磯 守屋 紀忠 M5		
			水野 仁			高橋 正之 M3			平塚北 八日市屋敏雄 M1		
			中村 太郎			井上 栄次 M4			高橋 好文 M3		
			緒方 義弘			金子 英行 M5			平塚西 関口 俊一 M2		
			池田 豊文			内田 茂一 M2			菊池 良知 M3		
			奥田 経男			西迫 洋美 M6			吉川 寛己 M5		
			中山 和代			秋原 義久 M5			小田原 穂坂 肇 M1		
			藤本 恵介			奥橋 園子 M1			高野 久男 M2		
			長田 憲一			鈴木 昌彦 M1			上田 輝夫 M2		
			義澤 彰			竹村 克二 M1			石森 公夫 M4		
			澁谷 憲明			黒河内三郎 M2			榎井 規雅 M4		
			樋田 一徳			杉崎 信一 M2			松本 俊輔 M4		
			鈴木 義隆			足立 旬一 M5			古川 武法 M6		
			小野 泰弘			宮崎雄一郎 M6			井上 三郎 M7		
			小泉あずさ			永保 固紀 M3			湯河原 室伏 学 M1		
			高野 栄一			小野 孝 M5			望月 博文 M2		
			内野 一成			青塚 淳次 M2			高杉 尚男 M3		
			山崎日出雄			谷口 隆良 M3			箱根 角山 敏夫 M1		
			松本 健司			山本 晴章 M3			駒 篤司 M1		
			戸山 顕一			中島 一二 M4			村上 隆 M1		
			井上 良一			荻原 保典 M5			上野 伸 M1		
			伊藤 一			田島富美子 M6			勝俣 裕 M2		
			能勢 健一			野々山英樹 M8			勝俣 喜陽 M2		
			荻野 洋一			久保 義輝 M4			窪澤 吉幸 M2		
			百瀬 正子			篠崎 栄治 M4			野瀬 清 M2		
			田口 幸代			鎌田えり子 M3			小澤 修二 M2		
			田中 宏顕			小島久美子 M1			田代 恭子 M2		
			秋山 哲也			和田 勝美 M1			山田 治幸 M2		
			天野耕一郎			西迫 哲 M2			勝俣 昭彦 M3		
			旗川 英明			滝澤 勇 M2			宮本 邦彦 M3		
			細野 桂司			黄金井康巳 M6			山田 敏理 M3		
			熊谷 勝利			壽永 純昭 M7			川辺 隆夫 M4		
			大澤 守門 M6			花岡 淳子 M1			大場 脩一 M4		
			大澤 史生			石高 誠一 M1			澤田 君雄 M4		
			添田 博充			眞鍋 藤正 M5			瀬戸 弘之 M4		
			鈴木 康弘			古谷田紀夫 M1			鈴木 茂男 M4		
			戸田 裕士			矢部 雅文 M1			安藤 紀之 M5		
			渡邊 健樹			日野原征夫 M4			小田原北 柴田 直明 M2		
			山田 昌紀			阿萬 正巳 M1			小野 隆夫 M5		
			吉野 太			北砂 明彦 M2			柴崎 正三 M5		
			渡辺 紀之			竹内 祥晴 M1			辻村 彰秀 M3		
			泰之 勇			笹生 誠 M2			柳井 涉 M3		
			日坂 佳広			小澤 俊通 M3			杉崎 勝成 M4		
			今村 佳広			三平 治憲 M5			清 康夫 M6		
			葛西 敬			山崎 隆夫 M5			小田原中 安藤 謙 M1		
			小林 誠			大谷 徳治 M4			田中 裕子 M1		
			武藤 修儀			古木 哲夫 M6			原 久起 M2		
			高田 源太			佐藤みゆき M1			峯 一喜 M3		
			長瀬 六朗			菊池 寛 M2			立川 公一 M3		
			赤木慎一郎			小川 治夫 M2			飛鳥井 従道 M5		
			鈴木 弘			吉水 知波 M2			譲原 彰 M5		
			長瀬 弘			高橋 晃 M5			遠藤 秀樹 M1		
			小澤 貴幸			小川 満 M1			三浦 敏幸 M2		
			田中 重代								
			岩佐 直樹								
			松田 壽之								

新クラブ会員紹介

 かながわDEIロータリークラブ



神谷 一博  
会長/温泉供給



小倉 高代  
幹事/ICT教育



平島 正  
国際物流業



山崎陽軒(克弘)  
整体師



大塚 由幾子  
音楽教育



佐々木 友路  
材木卸売業



小澤 英仁  
不動産業



スービー 百代  
英語教育



鈴木 清隆  
宿泊業



梅津 貴陽  
歯科医業



マット・ケッチャム  
不動産業



小宮 利津子  
元銀行員



河野 雅明  
宿泊業



中島 由紀子  
書道教授業(己書)



京極 雅美  
日本語教育  
フリーアナウンサー



伊東 淳一  
飲食業



杉山 文男  
旅客運送業



芳賀 慎一  
不動産仲介業



本村 博孝  
福祉業



南谷 桂子  
文筆業



木村 明美  
食品供給



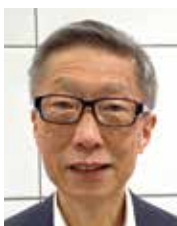
酒匂 マリ子  
賃貸業



石井 浩  
ビルメンテナンス



西山 実  
不動産仲介業



榎本 博光  
不動産賃貸業



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2021~2022 Governor

Toru Tajima

■OFFICE

Aizawa Bldg.#1,5F,22-7-501  
Minami-Fujisawa,Fujisawa-city,  
Kanagawa 251-0055 JAPAN  
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866  
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp  
URL :https://rid2780.gr.jp

2021~2022 年度ガバナー

田島 透

■事務所

〒251-0055  
藤沢市南藤沢 22-7-501 第一相澤ビル 5階  
Tel:0466-25-8855 Fax:0466-25-8866  
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp  
URL :https://rid2780.gr.jp

ガバナー月信 2022年8月1日 第13号